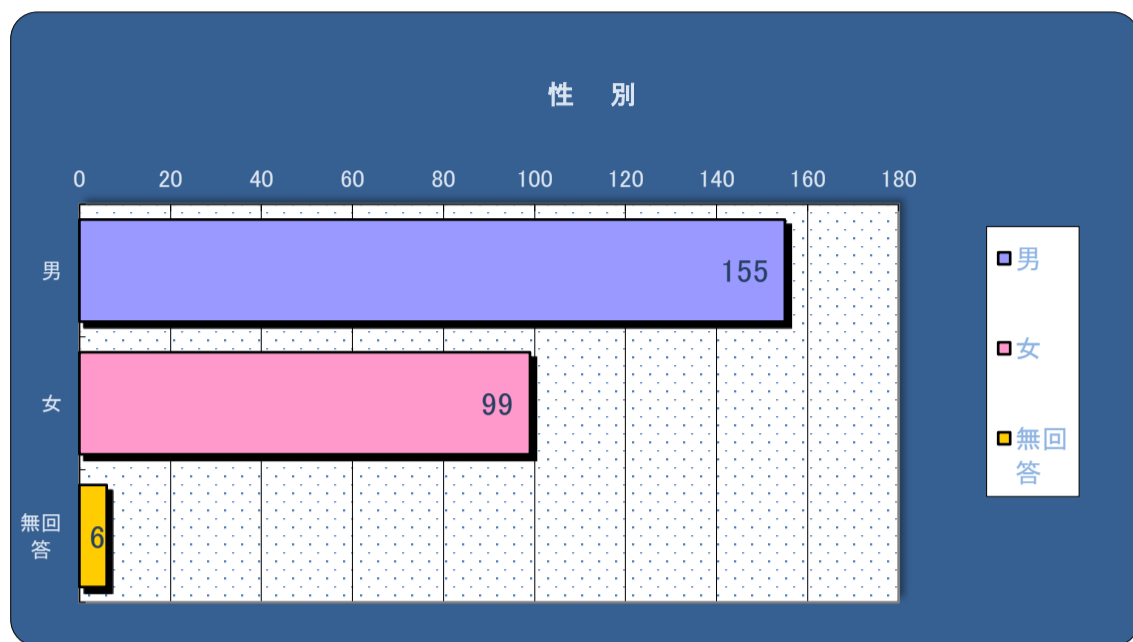
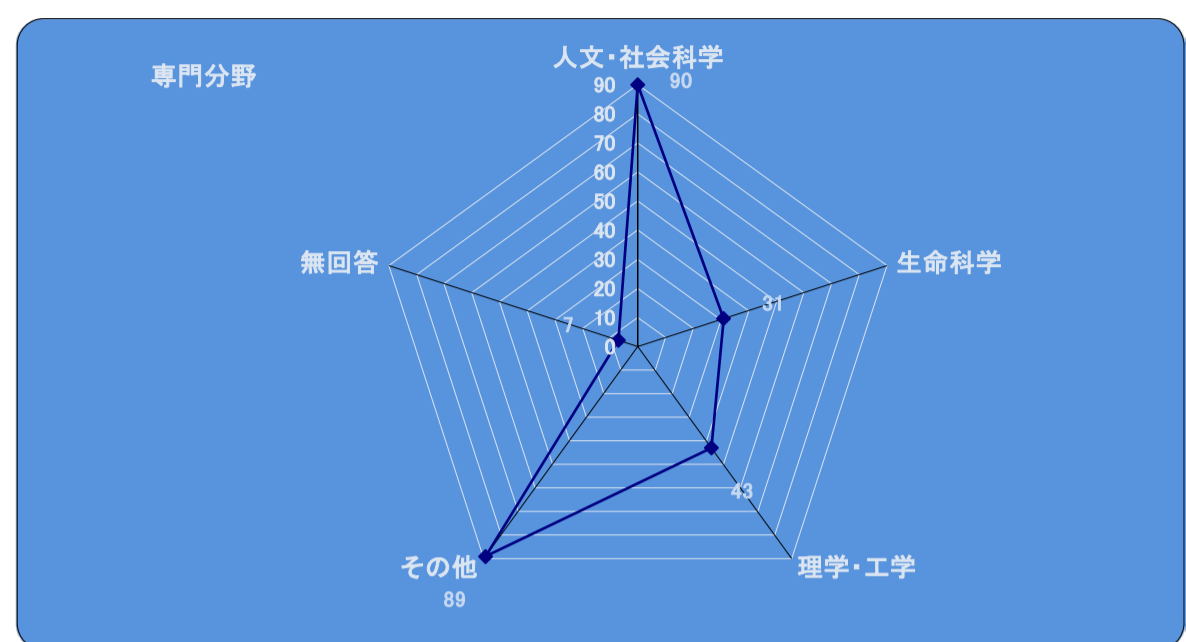


令和2年6月18日開催 日本学術会議主催 学術フォーラム
 「人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス 新型コロナ感染収束後の社会のために」
 アンケート集計結果

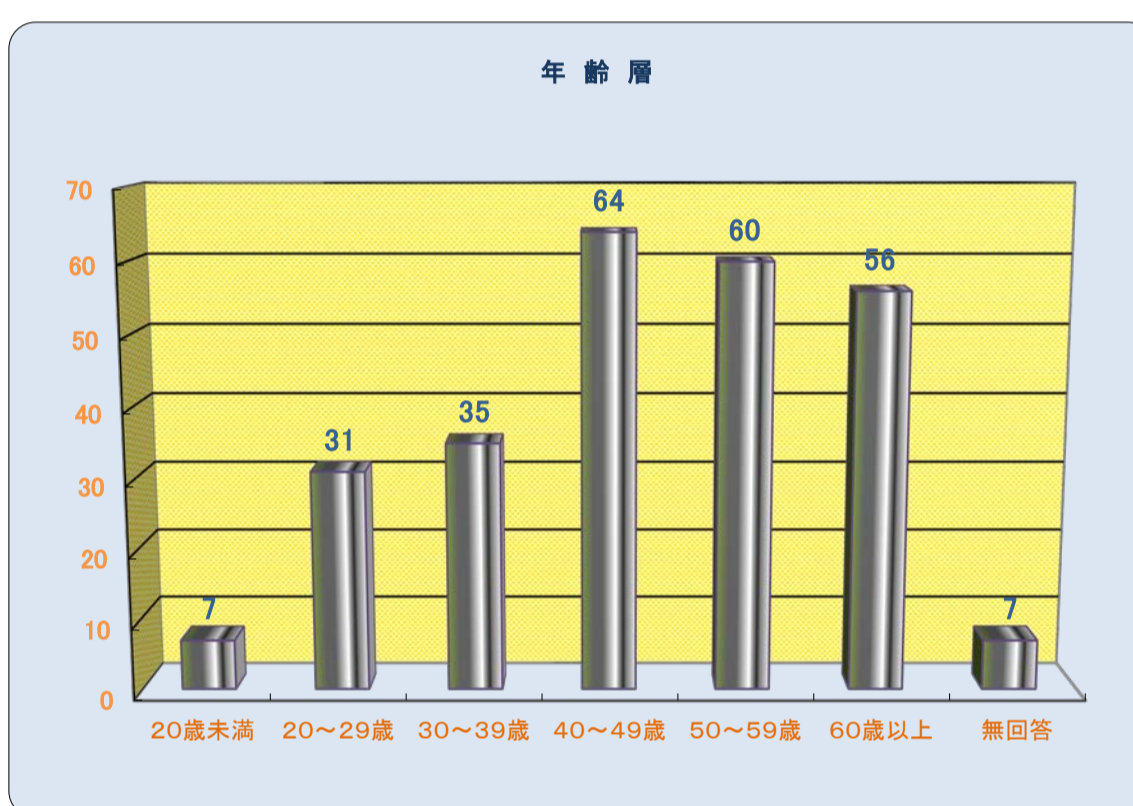
性別



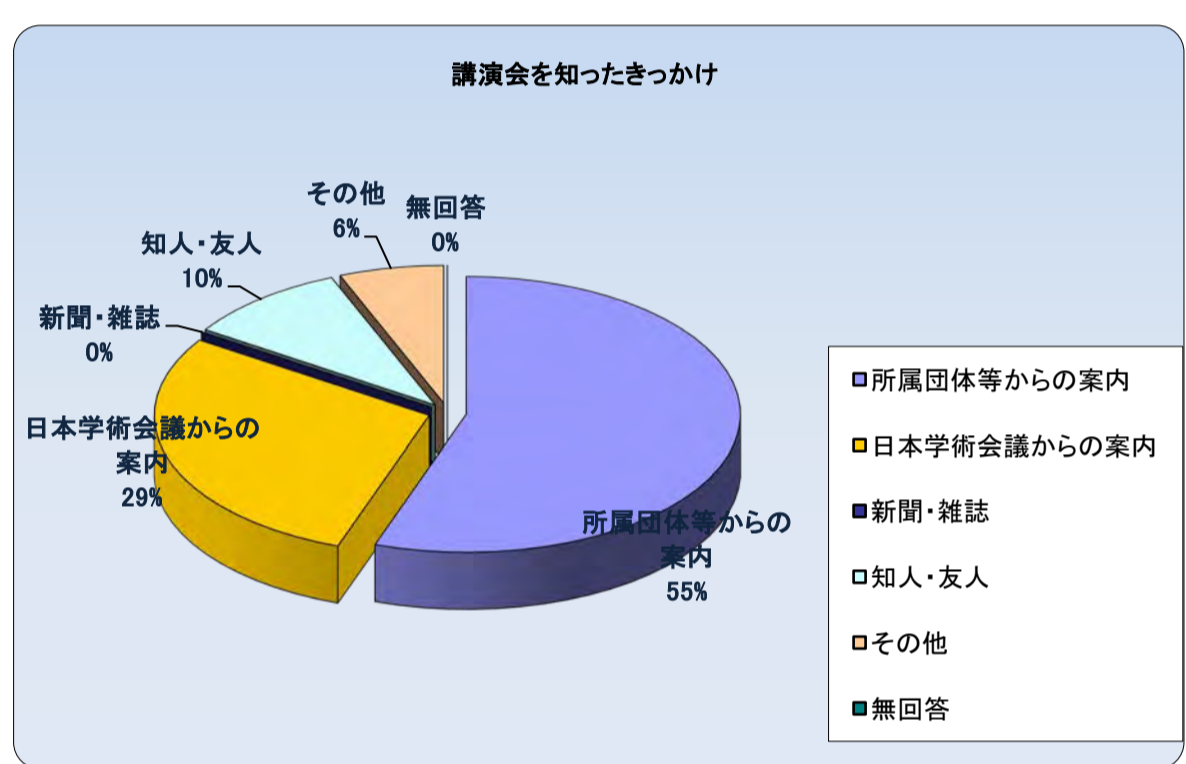
専門分野



年齢層

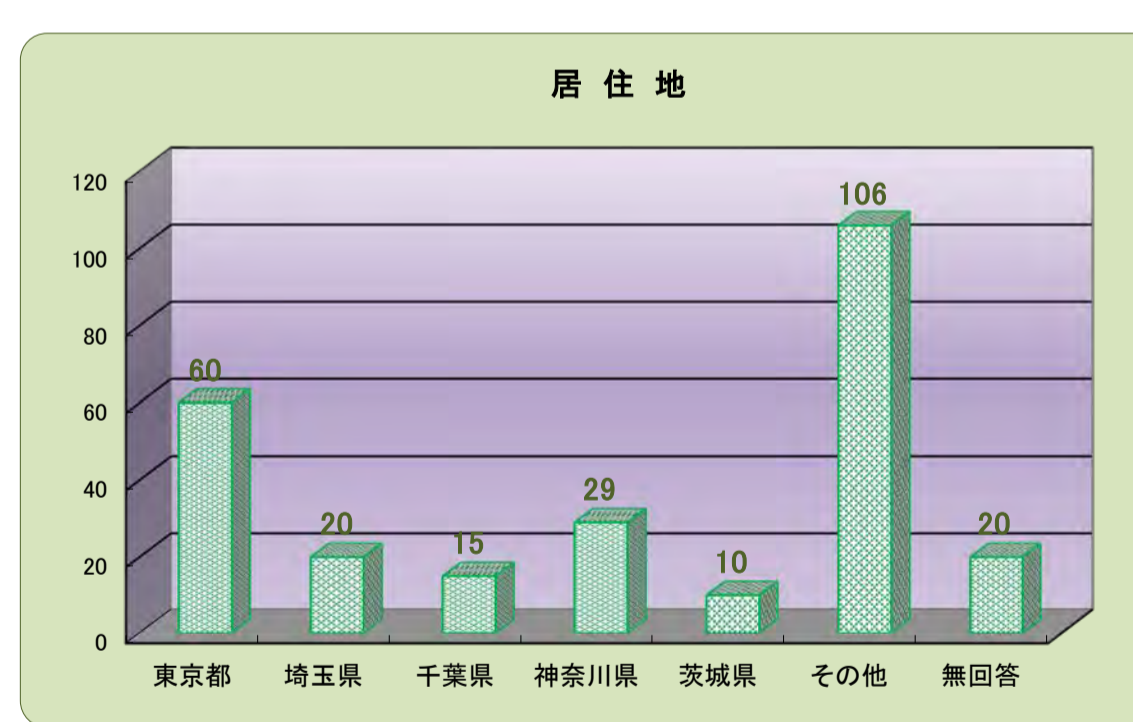


講演会を知ったきっかけ



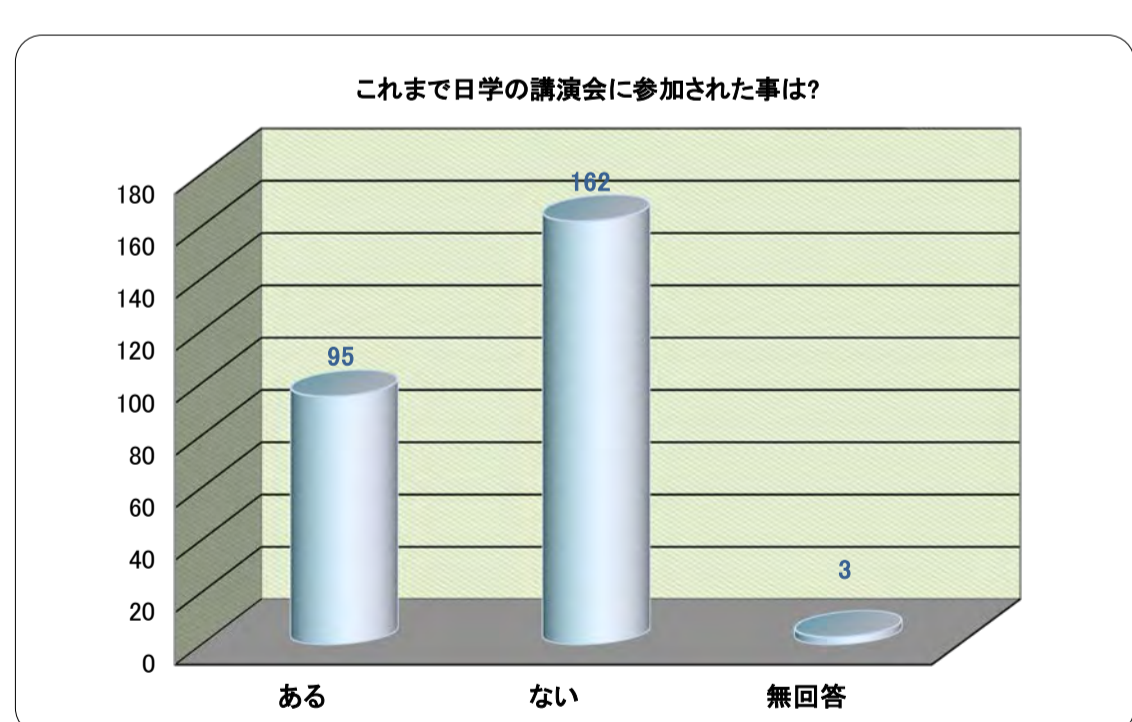
(その他)NIIメーリングリスト等

居住地

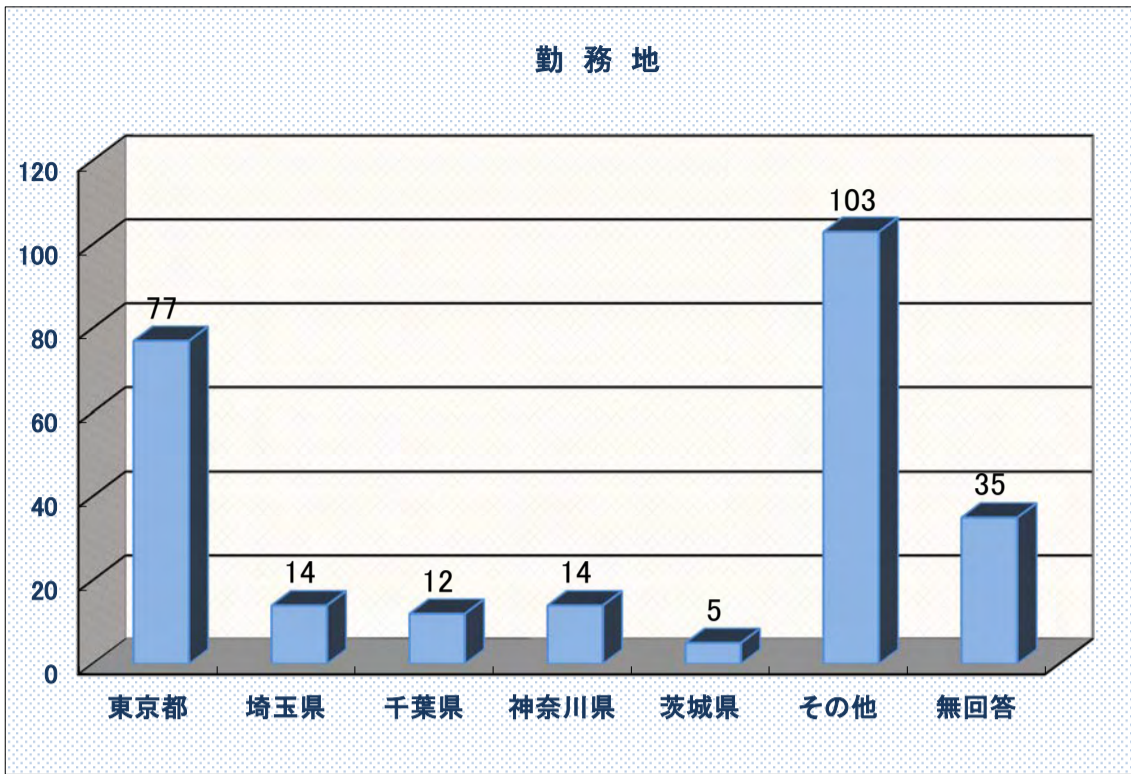


(その他)北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、熊本県、沖縄県、台湾、オーストラリア、フランス、スイス

今まで参加された事は

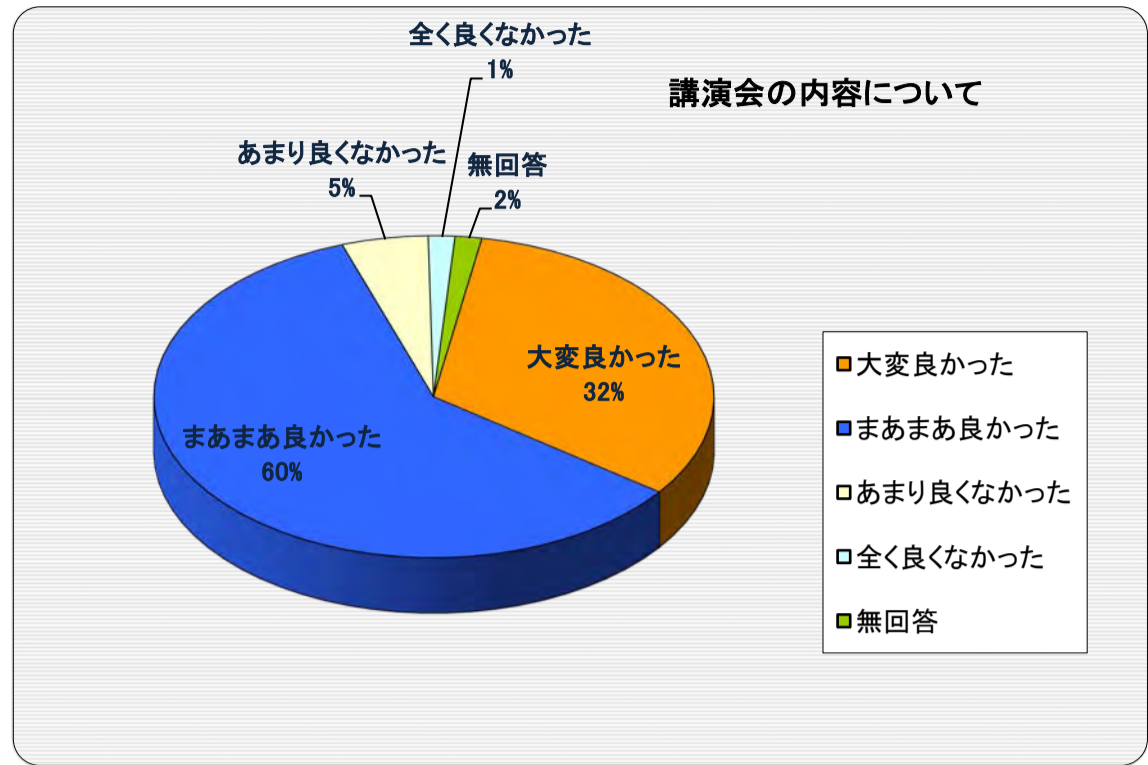


勤務地

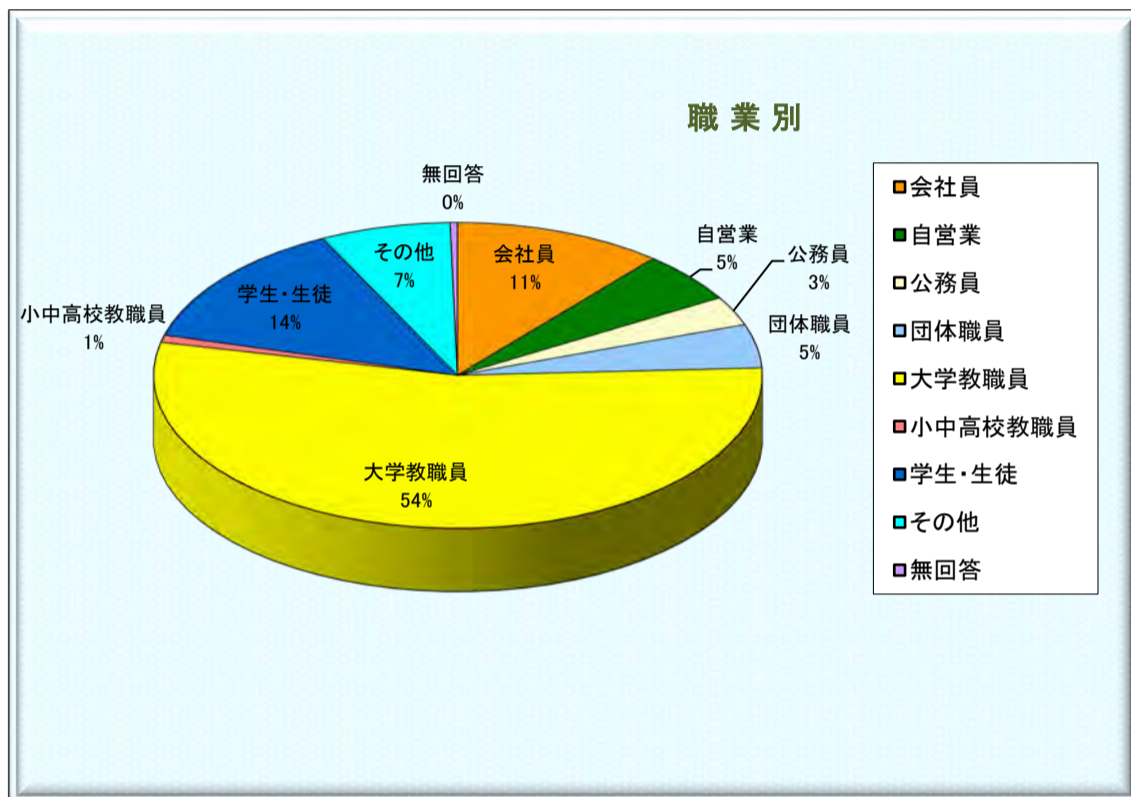


(その他)北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、熊本県、沖縄県、台湾、オーストラリア、フランス、スイス

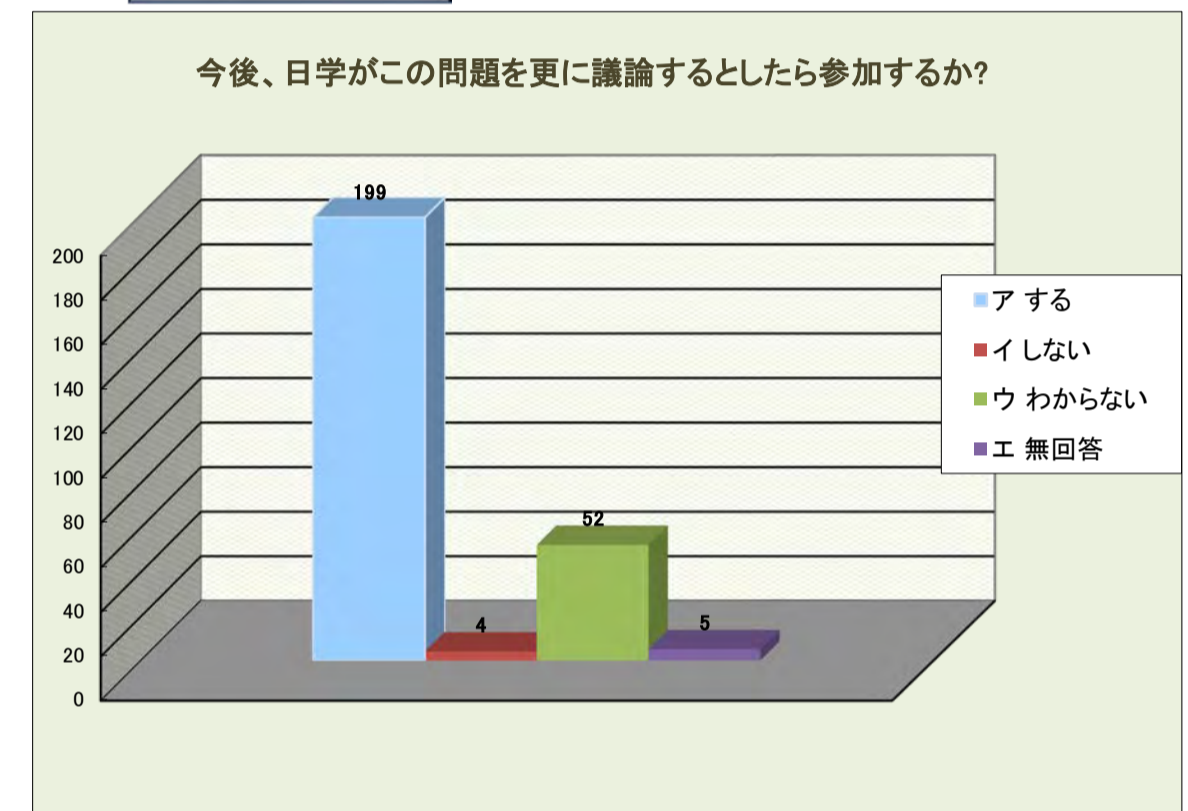
講演会の内容について



職業別



今後も参加する?



No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
1				
2	熊谷さん、室伏さんの講義	普段テレビ越しで見ていたアスリートの方々が、裏では葛藤や怪我に悩ませる現状を強く認識しました。スポーツとビジネスの関係性に、更に興味が湧きました。	プロ野球とビジネス、あるいは地元密着について、取り上げて頂きたいです。	
3	勝田隆さん、田中ウルヴェ京さん	スポーツビジネスに関わりたいと思っていたので、スポーツの価値を改めて考えることができた良い機会でした。	スポーツへの知識あるが経験をしたことがない人がデータを駆使してアスリートにアドバイスすることができるのか	
4				
5				
6	熊谷先生、曾良先生、室伏先生、田中先生、神尾先生、川上先生、喜連川先生、山口先生	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のスポーツ界の価値観にとらわれることなく、現在の社会情勢において、スポーツが社会にとってどのような価値があるかと言うことを、多角的な視点で再検討をされたと言うことがとても意義深く感じました。 ・冒頭、音声や画像が何度も途切れる、山極先生の音声が届いて聞きづらいなどのトラブルが続発し、内容に集中しづらいという場面がありました。オンライン配信の環境改善に関してご検討いただければ幸いです。 ・途中でどうしても外せない業務が入っており、重要な部分を見逃してしまいました。後日録画配信をしていただけると助かります。 	バーチャルスクールに関する今後の可能性及び、実技系科目との連携について	<p>オンライン開催のおかげで今回素晴らしいフォーラムに参加することができました。感謝申し上げます。</p> <p>これまで地方勤務者は、参加したいイベントがあってもなかなか参加できず、どうしても情報がワンテンポ遅れたり、又聞きでの情報収集に頼らざるを得ない情報にありました。地方創生の観点からもぜひ今後もオンライン開催の検討をお願いします。</p> <p>また、逆に地方からの全国発信も実施しやすくなりましたので、ぜひ、地方開催や、特定の地域と全国を繋ぐようなイベント開催のご検討を頂ければ幸いです。</p>
7				
8				
9				
10	田中ウルヴェ京、來田享子、室伏由佳	今までスポーツに関わってきた身として、スポーツに対する新たな視点を獲得ことができ、大変有意義なフォーラムでした。現在学生なのですが、オンラインだからこそ、気軽に参加することが出来たので、コロナ収束後もぜひこのような場を設けていただきたいなと思っております。		
11	勝田先生			
12				
13	室伏先生			
14	室伏先生			
15	曾良一郎	もう少しテーマを絞った方が深い話になって面白い内容になったと思います。今回は中途半端になった印象です。ただ、スライド資料を事前に公開していただいたので、参考になりました。		
16		どの学問領域でもそうだが、「専門外」の専門家に対する敬意、聞く耳が必要であると思った。		
17	曾良一郎さま			
18	室伏由佳	内容は良かったが途中の画面共有でのトラブルが多かった。		
19	曾良一郎先生	eSportsについての講義に興味を持って、参加させていただきました。eSportsのスポーツとしての意義や問題点について学ばせていただきました。貴重な講演、ありがとうございました。		
20		途中、スライドの表示に問題がありましたが、興味深い内容のフォーラムでした。このような状況の中、オンラインでも開催いただき、ありがとうございました。		
21	田中ウルヴェ京先生		スポーツを通じた心理的成長	
22	田中ウルヴェ京 室伏由佳	スポーツが様々な分野とつながることを認識できました。コロナ状況後考えるべきいろいろなヒントを得たような気がいたします。		このようなオンラインシンポの方がかえって地方の者は参加しやすいので、今後もこのような形であるとありがたいです。
23				

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
24	室伏さん			
25	熊谷晋一郎氏の講演 来田享子氏のコメント	オンラインによる受講効果が悪く、特にマスクをして話している講演者のかた(渡辺、室伏、神尾氏)の内容は大変聞きづらく残念でした。他のYUTUBU会議と比較しても精度が落ち、休憩中の雑談が丸着こえなど会議進行側のオンライン運営技術と知識不足によると思います。今後のオンライン会議のため事前の打ち合わせをお願いします。		
26				
27				
28				音声が聞き取りにくかった 文字が小さく資料が見にくかった 長丁場だったのもう少し休憩を合間に入れてほしかった
29	神戸大学大学院 曾良一郎先生	スポーツと学術との融合の観点で興味深い議論が展開されたと思います。より具体的なデータをもとに議論が深まっていくことを期待いたします。 今回はリモート開催のため、講師や総合討論の参加者によっては音声が途切れて聞き取れないことがあったのが残念です。	5G時代で生まれる新たな価値	
30	室伏由佳さん	多少のトラブルはありましたが、興味深い内容が多く、有意義な時間を過ごすことができました。	現役アスリートが求める声(特に研究分野へ期待することや、橋渡し研究について、など) 運動習慣の定着に向けた取り組みを精力的に実施している方の講演(一般人を対象にしたもの)	
31	e-スポーツの曾良先生	オンラインの資料を先に印刷しておきましたので、スライド映像のトラブルがあっても聴講者は可能と思います。	介護予防、フレイル予防について	
32	来田先生のコメント、学術会議会長の最後のコメント	こちらの問題かもしれませんが、音声が聞きづらい演者がいらっしやって、少し残念でした。あらかじめレジュメが配信されていたのは大いに役立ちました。非常に重要な核心に触れていたように思います。これらの提言がどうまとめられるのか、楽しみです。		
33	室伏由香氏、田中氏、熊谷氏、勝田氏	今回の副題である「新型コロナ感染収束後の社会のために」に興味をもち聴講させていただきました。先生方のお話、素晴らしかったです。とくに学術会議の発信として価値があると思いましたのは、鈴木長官の「スポーツがない→潤いが感じられない社会になっている」や、山際会長の「スポーツの社会的な意味も重要」(科学的なエビデンスも重要であるがそれのみでなく)と発信されたことだと思います。 また再開に向けての段階的な対応(勝田氏)、女子トップアスリートとしての子宮内腺症があったことのご苦勞(室伏氏)、スポーツの価値について(田中氏)、e-スポーツと摂食障害などの関係(熊谷氏)など大変興味深く聴講させていただきました。今後もこのような機会がありましたら是非聴講させていただきたいと思っております。ありがとうございました。	本日の最後のフォーラムにあったように、「勝ち負けを超えたところに豊かさがある」「美術や音楽などとの共通性」「スポーツから得たスキルの日常的な転用」を考えることが、トップアスリート志向のみでないスポーツの価値を考える上で大事だと思いました。来年オリンピックが終わったら、そのあたりのエビデンスを取り上げていただければ幸いです。大学教育においてもそのあたりのことを示すことが大事だと思っております。	本日はお疲れ様でした。 遠隔で開催していただいたからこそ参加できました。今日提示されたプレゼン資料を、可能な範囲でhpでアップしていただければ大変嬉しいのです。(ただ疾病などについての個人情報結構です。)
34	室伏由佳さん	5時間近く、全く飽きることなく、興味深く拝聴できました。今日の成果を、報告書を著されては如何でしょうか。	大学入試を中心とする入試制度。	神戸の先生が、time-consumingでしたね。
35		スポーツ分野以外の先生方の意見をうかがえて大変参考になった。		仕方ないと思うが、所々音声が途切れて聞き取れない部分があった。
36	室伏 由佳さん、喜連川優さん		日本人の身体意識の未成熟さ	Webで行われたが、現地に行かなくても参加できたことが大変便利だと感じた。
37				

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
38		「人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス」というタイトルが掲げられているにも関わらず、アスリートやe-Sportが話の中心に置かれ、一般人の健康づくりのための運動、スポーツの演題がひとつも含まれていないのは、甚だ疑問です。		
39	ウルヴェさん		スポーツ心理 組織論	
40	熊谷晋一郎、室伏由佳、田中ウルヴェ京	競技成績の向上にとどまらない様々な分野へ価値向上が、科学的エビデンスからのアプローチから期待ができそうな気がしました。		
41				
42	田中ウルヴェ京			
43	熊谷先生 曾良先生		after コロナ、with コロナ下の芸術(音楽)教育、芸術活動支援	
44	曾良先生のeスポーツのお話	ネット環境を整えていただければ、引き続きこのような形式で行ってほしい。東京に行く時間やお金がかからなくて良い。		操作者(黒子)の声や先生方のバックグラウンドの音が気になったので、そのあたりの調整を今後はお願いいたします。
45	室伏先生	オンラインということで遠方でもネット環境さえ整えば参加できるということのメリットを感じました。 また、参加人数の制限がないことも多くの人が情報を共有でき、よいと思います。 内容も他方向からのアプローチや考え方に触れられ、大変有意義でした、ありがとうございました。	今回の議論の延長(時間がたつて変わった状況など)が聴きたいです。	
46	熊谷先生、室伏先生、田中先生		5Gの利活用、AIの利活用	
47	熊谷先生	様々な人の多様な視点からスポーツを考えることができ、貴重な機会であった。一方、事務局の準備不足を感じた。オンライン開催であるため、ある程度のトラブルは仕方ないが、事前に想定して回避できることもあったのではないだろうか。また、話と話の間に雑談が聞こえるなど、会の運営に問題があった。		
48	勝田先生、室伏先生、田中先生			
49	曾良先生	曾良先生の講演は大変参考になりました。ありがとうございます。e-sportに対して、賛否両論を聞けるとより良かったです。		
50	室伏由佳さん	才能のあるアスリートにとっていかにスポーツ科学が重要な学問であるかを再認識しました。スポーツ科学的観点からの指導により、これまでできなかった分野の改善が望まれ、さらに成長する事が期待できます。これまでスポーツ界に根付いた根性論に取って代わる考え方が誕生したという意味でもスポーツ科学はスポーツ界の革命と言えます。大切なアスリートだからこそスポーツ科学も同時に発展させていく必要があると思いました。		
51	田中ウルヴェ京先生、室伏由佳先生、喜連川優先生、来田亨子先生	オリンピックの見えない価値やコロナ後のスポーツのあり様等、スポーツを多面的に考えることができました。社会とスポーツとの繋がりを意識しながら、引き続き学んでいきたいと思っています。	スポーツを学際的に捉えることがますます重要だと思います。引き続き、多様な視点から、いろいろな分野の先生方がスポーツをどのように捉えているか、学びたいと思います。	せっかくの貴重なお話しが聞こえづらかったのは残念でした。専門の技術を持っている方に、サポートをしてもらうとよかったです。
52				非常に貴重な話題だったので、しっかりと聴講したいと思っておりましたが、最初のあいさつから音声がかもってほとんど内容はわかりませんでした。また、その後も音質や音声レベルがわるく、スライドの操作にも慣れていなかったようで、とても残念でなりません。 最低限のリハーサルなどをされるなど、もう少しオンライン操作に慣れていただきたく思いました。
53	特にないです	音声聞き取りづらかったときが、何度かありました。発表者の人数をもう少し少なくして、一人当たりの持ち時間を長くして、詳しく聞きたいです。	スポーツ心理学、トレーニングのことなどについて知りたいです。	有意義な時間をありがとうございました。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
54	室伏先生	スポーツの価値というものを多角的に見ることができ、勉強になりました。		
55	熊谷晋一郎氏、曾根一郎氏	仕方ないのですが、事前準備が足りないせいか、音声が聞きづらかったり、余計な音声が耳障りだったり、資料が見えづらかったりと、内容は良いのに集中力をそがれる場面が多くて残念でした。特にe-sportの曾根先生のご発表は関心が高く、視聴者も1番多く600人以上が視聴していたにも関わらずトラブルが多かった事がとても残念でした。 そして、このフォーラムはジェンダーの視点からも問題があると思いました。こちらのアンケートはさしつかえなければと断りつつも性別は2種で1番最初に来ていますし、討論のまとめでは喜連川先生がおっしゃった通り、女性が多い登壇者の中で最後は男性がまとめるような形になってしまっておりましたし。スポーツの新たな価値を模索する面もあるこのフォーラムで定型通りなのは、残念としか言いようがありません。内容が悪かったと言うのではなく、残念な点が気になるフォーラムでした。	引き続き、スポーツの価値をどう捉える事ができるのかに関する、他分野の方々も含めた学際的な議論を期待します。	
56	曾良一郎(神戸大学教授)	パネル討論の時間が、短かったのは、残念。		
57	熊谷先生、室伏先生	音声が悪く聞き取りにくく残念だった。		
58	田中ウルヴェ京先生、室伏由佳先生	スポーツの価値を改めて考えるきっかけになりました。また、トップアスリートの苦勞を知ることができた。 勝ち負けだけでなくスポーツの楽しみ方、応援の仕方など参考になりました。		ありがとうございました。
59	熊谷晋一郎さん		「アフターコロナ」時代における大学の存在意義	
60	熊谷先生	聞き取りにくいことが何回があったので改善を望みます。		
61	室伏由香さん	資料は前日にアップしていただけると時間に余裕を持って印刷できる。 フォーラムの大部分がフリーズしたり、音が飛んだりして資料を見て内容を理解するしかなかった。面白い内容だっただけに残念。		
62	勝田先生のスポーツの「再開」に向けた講演	一流アスリートの講演が聞けたことは非常に興味深かったです。また、機会があれば聴講したいと考えています。		
63		音声・画像が良くなかった。雑音も多かった。関係者の雑談などが、全部聞こえていた。もう少し、オンラインで会議を開催する際の技術面に配慮してほしい。すこし気を付ければ済むことです。		
64	來田享子さん	とても分かりやすく、初めて聞く内容も多かったのですが、スポーツに関わり、将来教えていく者として沢山のことを学ぶことができました。これからの学びに繋げていきます。	女性が長く競技人生を歩む方法	分かりやすく、新たな学びがあり、面白かったです。 ありがとうございました。
65	曾良一郎さん、田中ウルヴェ京さん	e-sportsはじめとして多様な視点で話題が提供されており、「スポーツ＝健常者でトップアスリートの活躍した話」と考えがちであることを直そうと思いました。		コロナ禍でも開催していただき感謝いたします。慣れないWeb開催だったと存じます。今後、Webで行う場合、進行側の打ち合わせは音声をOFFにさせていただくと、聞いている側はより快適に参加できます。
66		音声管理が最悪です 切り替えの時に雑談まで聞こえてくる ひどいフォーラムでした		かなりの視聴者がいるのを意識して、確実にリハーサル、準備などを行うことで、折角の良い内容が台無しにならないように運営をしていただきたい

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
67		音が悪い 雑談のような声が聞こえて、不快 内容が良いだけに、運営がっかりでした		
68	ゲーム依存	ライブであったため、よく分からなかった箇所を再度聞けなかった所は残念でした。第一線の方のお話が聞けたのは、とても良かったです。	ゲーム依存は更に深く聞きたいです	ライブ配信だけでなく、登録された方限定で見ることができればと思います。
69	山極壽一氏	シンポジウムに通底するテーマが読み取りやすく、個別のシンポジストの先生方のすばらしい発表が散発的なものになってしまい、勿体ないと感じました。 個別具体的な議論テーマが設定される方がよかったですのではないかと思います。	スポーツ科学のアイデンティティや価値づけについて、スポーツ科学領域で活躍されている先生方だけではなく、他の領域からみたスポーツ科学の現状や期待について検討ができるフォーラムがあってほしいと思います。 今回のシンポジウムにて山極壽一先生が最後に言及していましたが、そもそもスポーツ科学領域以外の研究者や学者の先生方にとって「スポーツと科学」が結びついていることは「意外」なことだと思われそうです。 このような現状に対して、スポーツ科学は何をするべきか、何が課題なのかを議論する必要があると思いました。	
70	曾良一郎先生(神戸大学教授)	学内からのオンライン参加ということもあり、校務でしばしば抜けることがあったため、オンデマンドであとから見る方法があれば、お教えいただきたいと思っています。	遠隔教育など	
71	室伏さん、パネル	次回は、AI? スポーツ? 健康 の内容であれば嬉しく思います。	次回は、AI? スポーツ? 健康 の内容であれば嬉しく思います。	事前の準備をお願いします。音声に講演前後の会話の雑音が入っていて、聞きづらく思いました。
72	室伏さん、熊谷さん	室伏さん、田中さんなど個人のデータ(数値、ナラティブ)を用いた、エビデンスベーススポーツの提唱は、興味深かった。 熊谷さんや討論時のらいたさんの社会のなかのスポーツや、能力主義スティグマのなかにおかれた一流選手の大変さなども、興味深かった。	データ・エビデンスで明らかにできること、できないこと(政策=EBPM、教育、福祉、スポーツ……などは、EBMほどうまくいかないのではないかと)	
73	熊谷晋一郎先生	テーマと実際の内容に大きな乖離を感じた。 テーマには、「新型コロナ感染収束後の社会のために」という副題が設けられている。 このテーマから推察される内容としては、新型コロナによってスポーツの価値がどのように変化していくか、といったものと思われる。 オリンピックの延期およびインターハイや国体の中止がスポーツの価値にどのような変化を及ぼすか、またスポーツを学べる大学が急激に増えてきている今日の日本において、それらの大学の存在意義はどこに向かうのか(スポーツ科学分野の研究者も同様)、というような、普段の情報番組や大学の講義では得られない議論を期待していた。 今回の内容では、テーマに「新型コロナ」というキーワードを含める必要はなかったのではないかと。	(5)に記載した内容を取り上げてほしい。	オンラインでの実施ということ、またマスクを着用されているということで、出演者の先生方の声が全体的に聞きづらかった。字幕をつける等の対策が必要であったように感じる。
74	順天堂大学スポーツ健康科学部 室伏由佳さん 慶應義塾?学?学院システムデザイン・マネジメント研究科 ?中ウルヴェ京さん	ライブ配信の方法だと、移動がなく、有難いと思いました。次回からも、この方法でお願いできれば、嬉しいです。	来年度、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなら、実際の選手のサポートに携わった先生方の学術的なお話を伺ってみたいです。	ありがとうございました。
75	?中ウルヴェ京 曾良一郎	心理、教育、発達などの研究をしています。 スポーツについては専門外とっていたのですが、興味深い内容が多く、私の研究分野とも関連があると思いました。	アフターコロナのコミュニケーション	音声聞き取りづらい時がありました。 室伏由佳先生の講演と総合討論の会場パネリストの音声途切れがちで聞き取り辛かったです。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
76	熊谷晋一郎先生	熊谷先生の「共同創造」の思考に大変賛同いたしました。あらゆる分野に共通するところがあると思いました。	「共同創造」と「教育分野」とを関連付けたテーマを期待します。現在、チーム学校、社会に開かれた教育課程とは言うものの、その実現は、学校が一手に担い、飽和状態です。指示するだけの行政ではなく、学校と行政、関係者が真なる「共同創造」を実現できる思考やプロセスが必要と考えます。行政も精いっぱいやっておられますので、研究の知見を提供し、生活と教育が直結したコミュニティづくりを実現することが、これからの時代を支える教育の姿と考えます。ご検討をよろしく願いいたします。	
77	最初の東大の先生	アスリート特有というよりは、特技などある部分に突出した能力なり技術をもって仕事をする人達に共通したことなのかなと思いました。		
78	特には有りません。全体的にフラットに視聴出来ました。			
79	ジャンルを超えた講師陣でスポーツについての意見が参考になった。スティグマの話は現代社会の競争激化で、大学の組織自体が、昔のヒエラルキー型で学生に対してもプレッシャーをかけているので、考えさせられる。	まだまだ、スポーツについてはステレオタイプな考え方が、定着している。スポーツする人自身が、スポーツ依存に陥っている。バランス感覚が必要と考えるが、何もかもと抱え込みすぎても、やれることには限りがある。一般の人にとってのスポーツと夢を求めるスポーツ、感動を与えるスポーツ、挑戦的な生き方によるスポーツ、スポーツ自身は自由な取り組みで様々なスタイルで楽しむことが認められている。そういう意味で、立場の異なる考案者の話は有意義であった。	社会全体で運動にもっと取り組めるシステムを構築するため、専門家のネットワークを広げる取り組み。日本がヘルスプロモーションのモデルとなるような大規模な取り組みを提案できたら良い。	コロナでの対応ご苦労様です。最初は音が割れたり映像が乱れたり参加しづらい状況でした。なんとか最後まで参加しましたが、人によっては声が響いて何を言っているか聞き辛かったです。全体的には良い取り組み、長きにわたり、委員の皆様ご苦労様でした。手交式についても、前段階を知ることができたので、良い学びでした。是非、他の参加者の方にも、この取り組みに至る経過を開示されたら良いと思います。
80	熊谷先生 田中ウエルヴェ京さん、 室伏由佳さん	新しい事実やキーワード、また、実践について知ることができ、非常におもしろかったです。	日本語教育	ウェブ配信のいくつかのミスが最初のほうにあったのが気がなったが、概ね良かった。
81	曾良一郎			通知をいただいたパソコンでYouTubeにアクセスすると、「制限付きモード」(＝限定公開?)のため視聴できませんでした。私のグーグルアカウントのせい(参加申し込みをした私のアウトルックアカウントと、YouTubeを見る時のグーグルアカウントが別なため?)だと思いますが、しかたなく、グーグルアカウントを作っていないスマホで視聴しました。ただ、何度もストップして困りました。Zoomか何かで行われると思ったので、通常のメールアドレスで申し込みましたが、YouTube公開の場合は何かいい方法はないのかなと思います。
82				
83	山口香先生、田中京、山極寿一先生	山際先生の学術とスポーツが近いという発言が印象に残った。トップアスリートが過去、身体をデータ化し分析して見直したこと。勝ち負けだけではなく、他者と自己の身体を比べて考えることの価値を再認識した。田中ウエルヴェ京さんのアスリートと引退について。そのほかオリンピックの見えにくい価値が重要だと思った。	来年2021年がどうなっているか、学術的に検証してもらいたい。	マスクしてシンポジウムで発言したのが聞き取りにくかった。演壇で発言するときだけはマスクをとったほうがよかった。リモートでの発言のほうがわかりやすかった。
84	室伏由佳さん	様々な意見をエビデンスベースで発表しておられ、今後のスポーツ界の展望などが見られた。		
85	熊谷晋一郎さん 室伏由佳さん	コロナをきっかけに、スポーツの在り方を変えていけるのだと今回のフォーラムで大いに気付かされました。来年あるいはそれ以降に東京でオリンピック・パラリンピックが開催されれば、その意義や社会に与える影響力は今年開催されるよりも確実に大きくなると思います。そういった意味でも、このフォーラムが継続されていくことを希望します。		このアンケートで、確認画面の後、修正ボタンを押したら、入力した内容が全て消されてしまいました。入力フォームについて調べて頂けると助かります。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気付きの点がありましたら、ご自由にお書きください。
86	熊谷晋一郎先生、曾良一郎先生、勝田隆先生、室伏由佳先生、田中ウルヴェ京先生	障害者のスポーツ参画、プロスポーツ選手のセカンドキャリアなど、通常は接することの少ない話題について拝聴できたことは、とても貴重であり、また興味深かった。また、プロスポーツ選手で栄冠を勝ち取ったことを「運がよかった」と表現された点はとりわけ衝撃的だった。工学や科学の分野でも、新しい知見を得るために、さまざまな研究者・技術者が日々努力していて、必ずしも成果に結びつく訳ではない点などの類似の状況を考えながら視聴できたためである。	スポーツの果たす役割は非常に大きいことが分かった。また、研究や技術開発にも似ている側面があると感じた。スポーツと科学の類似点や相互に影響しあう可能性などの話があれば、もう少し詳しく聞きたいと思った。	Youtube以外の媒体やシステム(WebexやTeamsなど)でのフォーラムの開催可能性もご検討いただけますと幸いです。
87	熊谷晋一郎氏			
88	スポーツの見えにくい価値をどのようにクローズアップし、研究成果として発表していけるのか。	スポーツメディアの在り方について、大規模な改革が必要だと感じた。これはスポーツに限ったことではないが、どうあるべきなのかもっと議論すべきだと思った。ほぼ、授業のため、視聴できず残念だったので、またこのようなチャンスがあれば参加したい。		
89	熊谷晋一郎(東京大学准教授)	非常に勉強になりました。ありがとうございました。		
90	室伏さん	時機を得たすばらしい企画。継続して発信して欲しい内容が多く、より多くの国民に知って欲しい。文字になっていればさらに多くに発信できる。今後も期待する。	レガシー、beyondやafter, with コロナなど、スポーツを取り巻く環境が大きく変わっていることを発信(アドボカシー)していただきたい。	ハンドアウトがあれば入手希望します。
91	会長、副会長、熊谷先生、田中先生、室伏先生、勝田先生	やや電波の関係で音声途切れてしまう部分があった。ただ、すべての参加は難しくとも、一部だけでも参加できる形式として、オンラインのフォーラムはよかったと思う。資料もHP経由で入手もでき、とてもよかった。	スポーツと倫理 スポーツにおけるダイバーシティとインクルージョン パラアスリートのトレーニングからのリハビリへの転用の可能性	
92	田中ウルヴェ京さん 室伏由佳さん 山口香さん 来田享子さん	様々なスポーツの価値を聴けて、とても興味深かったです。	ぜひ、オリンピックの価値を広められるような事をして欲しいです。	マイクの向きなのか分かりませんが、音声途切れししまい聞こえない部分がありました。会場開催ではこんなことは無いと思いますが、オンラインの難しさを感じました。
93	熊谷晋一郎さんと曾良一郎さんの講演は非常に興味深く面白かったです。	オンラインでされているので、海外からも聴講出来て非常にありがたかったです。特に熊谷さんと曾良さんの講演はスポーツ分野ではない方が客観的に学術的にも研究され問題提起されているのでとても参考になりました。オンライン放送の技術面では、主催者の方が何度か体験して成長されていくことを期待します。主催者の画面と音声がとても質が悪かったです。主催者の会場にいる方が話しているときに、他の方の雑談、紙をめくる雑音、マスクをしているので声が特に聴きづらい(ソーシャルディスタンスをとってマスクなしでやるなど)など改善点があると思います。こういったものは、主催者の誰か一人が視聴者と同じツールで同時視聴しながら、問題点を解決していくと良いと思います。また、曾良さんの講演は最後の問題提起がとても重要なところだったのでスライドがあと1枚だったのであれば、事務局の方が途中で切るのではなく、最後まで聞きたかったです。技術面で改善点はありますが、オンラインでの学会やセミナーは非常にありがたいので是非続けて頂きたいです。	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備・大会中・大会後 をテーマに今回のようにスポーツ分野以外の方の講演を含めて幅広い視点から聞いてみたいです。	総合的にとても良いフォーラムでした。引き続き頑張ってください。次のフォーラムを楽しみにしています。
94	室伏由佳 田中ウルヴェ京	オンライン開催に変更になり、家で講演が視聴できて有意義でした。		急にオンライン開催になりソフト操作が旨く行かず時間が押したのが残念だった。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
95	・熊谷晋一郎(東京大学准教授) ・曾良一郎(神戸大学教授)	まずは、大変貴重な情報やご意見を共有していただいたことに感謝いたします。 オンライン開催ということで、足を運ぶことが難しい状況や立場の方でも参加できたことは、大変よい試みだったと感じています。是非とも、今後も継続して開催していただければと願っております。強いて1点難点を挙げるとしたら、全体的に画質・音質が悪く、登壇者の表情やお話が鮮明に把握できないシーンが多かったことです。今後の改善に期待いたします。	私は、臨床心理学とゲームスタディーズを専攻しておりますので、関連領域の発表があればとても嬉しく思います。	本日は、大学の同級生(1年生)を誘って、二人でオンライン聴講をさせていただきました。 学問に強い関心のある将来有望な学生が、コロナ禍につき、思うように学ぶことができないという状況は悲しいものです。 そんな中、今回のフォーラムのように、オンラインで、しかも無料で勉強をさせていただけたということは、本当にありがたいことでした。次回があれば、また学生を誘って聴講させていただきたいと思っております。
96	熊谷晋一郎先生、室伏由佳先生、田中ウルヴェ京先生、神尾陽子先生、川上泰雄先生、來田享子先生、山口 香先生	貴重なお話しを伺うことができました、有難うございました。 急ぎよのオンライン開催となったため、運営上のご苦労がたくさんあられたこととお察ししますが、回線の不安定があったのでしょうか、一部、音声聞き取れない部分があったり、音声と映像がズレたりしていたことで、スムーズにお話しが入ってこなかったところが多々ありました(パネルでの室伏さんのコメントはほとんど聞こえなかったのが残念)。 Cisco Webexの規格のためなのか分かりませんが、スライドサイズ比率は4:3でなく、16:9の方が見やすいと思いました。	スポーツの経済価値 スポーツと社会のつながり (アスリートのみでなく)人生をデザインする…ということの考え方とその方法論について	「オリンピックパラリンピックの目に見えない価値」というお話がありました。開催ホスト国としての時間が限られているため、もっともっと「目に見えない価値」活用の最大化を早急に図っていくべき、と思いましたが、どうするのが良いのでしょうか??(変な質問ですみません)。
97	喜連川氏	東京五輪を従来のメダル獲得、自国だけ応援というベースなら中止すべき。参加と多様性の価値を最大限演出するなら開催してもよい、という考えを後押しされた。	スポーツをアートとしての視点からとらえて広げたテーマのもの	
98	曾良一郎先生			
99	eスポーツ依存は勉強になりました。もう少し症例も供覧したかったです	ライブだけではなく1-2週間ほど視聴できる期間を設けてくれると助かります。		
100	熊谷晋一郎(東京大学准教授)先生	WEBでの運営方法が慣れていない感じがしましたが、色々参考になりました。	今回初めての参加で、希望するテーマ等は思いつきません。	
101				
102	勝田先生	ウェブ開催でチャレンジングなところもあったかと思いますが、興味深いお話を伺えました。ありがとうございました。		

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
103	渡辺,山極,山口香,神尾,来田,喜連川,田中ウルヴェ,室伏 皆さん大変興味深い話でした。	<p>私は、健康領域、ダンス領域、その他の実技・講義などを教員養成系大学で教えているが、本日の内容を大変興味深く拝聴させて頂いた。 (いつか、ダンス・身体表現などの舞台芸術を含むアート分野と身体活動分野に共通のキャリア支援の方法なども拝聴してみたいと感じた。)</p> <p>これまで、スポーツ分野は自分には、近いようで遠い世界であると感じながら仕事をしてきたが、今回のフォーラムの時間を過ごし考え方が少し変わった。 特に、トップレベルで活動してきた室伏さんの話は強く伝わってきた。彼女が話した競技歴ライフコース・意識・身体のことなどは、レベルは異なるものの、現在も舞台活動をしている自分や、これまでの痛みや一人で苦しんだ多くの時間と重なり、あそこまで公表してくれたことをありがたく思った。 コロナ下であることが、逆に時空間を超え、思いもかけずこのような体験を生み出してくれるとは思わなかった。記憶に残る時間となった。</p> <p>各氏の話は、学術的にも大変興味深く、刺激になる内容であった。特に、渡辺、山口、神尾、来田、田中ウルヴェ、室伏 各氏の話は示唆に富む内容で、もっと拝聴させて頂きたく思った。エネルギーを与えられた。</p> <p>このフォーラムに登録した私自身の動機は、おそらく少し他の方と異なっており、身体表現者の視点で、発言者の動きや表情に興味があり、勉強になると思い、参加(視聴)させていたどころと申し込んだ。しかし、画像であっても、かなりその人となり明瞭にわかるものであることもこの体験を通し、再認識された。有意義なひと時となった。</p> <p>貴重なご企画と時間をありがとうございました。</p>	アート分野と身体活動(スポーツを含む)分野に共通のキャリア支援の方法なども可能ならば拝聴してみたい。	
104	全員	会場の音声がとても聞き取りづらかった。個人のオンラインの発言はクリアだった分、非常に残念だった。また、映像のトラブルも気になった。その際の会話がアットホームで、私はいいと思ったが、それを不快に感じる人もいるのではないかと思う。	スポーツのインテグリティ	
105	勝田隆先生	ところどころで声が聞こえにくいなどの現象があったが、はじめて参加させていただき、大変興味深い内容でした。	国内外問わず、スポーツの価値を伝えるということについて、もう少し深く取り上げて頂きたいと思いました。	特にございません。ありがとうございました。
106				
107	熊谷氏			映像が途切れることが多々あった。
108				
109	eスポーツに関して	貴重で高度な研究について知ることが出来て良かった		
110	室伏さん、田中ウルヴェ京さん	内容としては理解しやすいものとしにくいものもありましたが、充実した内容だったと思います。	スポーツの心理面など	
111				

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
112	特にはありませんが、最後のパネルディスカッションを特に見たいとおもっていました。	すみません。途中で急遽会議がはいり、冒頭の10分？程度しかみれませんでしたので、今度ある場合は、見たいとおもいました。 また、冒頭だけの意見で申し訳ないのですが、音声の質が非常に悪く、聞き取りに力を多く使いました。 スポーツの研究は、日本もそうですが世界的にもほかの分野と比べ議論のレベルが低く、学会に行くと残念な気持ちになることが多いと思います。そういうひとが、だんだんスポーツの研究分野から去っていくことを、たびたび見えています。そういう人をうまくつなぎとめる、または引き戻すような取り組みをしてほしいなと個人的には思っています。	このご時世ですので、コロナ案件のテーマは可能な限り参加したいです。	
113	室伏由佳さん、田中ウエルヴ京さん	通信環境が優れず、途切れ途切れになり全てのお話を満足にはお聞きできませんでした。そのため、オンライン上ではなく、直接お会いしてお話伺いしたいと思いました。 現在、大学で部活動でトレーナーとして帯同しており、選手の悩みや現在から将来にかけてのことを聞くことがあります。大学生はまだ社会をあまり知りません。しかし、本日のフォーラムでスポーツと社会の類似点をお聞きし、選手に私伝いにはなりますが、根拠のあるアドバイスができると思います。	これまでのフォーラムで取り上げておりましたらすみません。 ・使える筋肉にするためにするための身体の作り方(メディカル的、内科的等様々な観点から) ・歩く、走る等日常生活で行うスポーツにつながる、将来的に慢性的な怪我にならないフォームや意識の持ち方 ・女性だからこそ社会的なことを考えてのスポーツへの関わり方(生理や結婚、妊娠、子育て等の問題で選手やトレーナー、指導者として満足に休みや引退を迎えることのできない人が多いと思います。少子化問題もあり、社会的にも大きな問題ですが、どのように生きればいいですか?) ・栄養についての大切さの周知(選手はもちろん、指導者や家族等周りの人もスポーツをする上で、生きていく上でいかに大事であるかを理解し行動する社会の構築を)	私の通信環境の場合は申し訳ございません。 始めのご挨拶のところが声は聞こえますが、画面が切れることが5回ほどありました。山極さんのご挨拶が画面の画面越しでしたので聞き取りづらかったです。 また、会場の方数名や室伏さんのお話が途切れ途切れになりました。
114	田中ウ京先生	音響はちょっと苦しかったですね。次回に期待します。	「みんなのスポーツ」「スポーツの楽しさ」に関する学術的根拠。	山極会長がそうであったように、(運動、保健体育含め)スポーツは学術ではないというのが一般的な認識かと思います。研究者がたくさん努力しているので、他領域の人たちに(今回のように)アピールすることが重要かと思います。
115		音声聞き取りにくかった。 演者により聞きやすい先生もおられましたが、全体としては聞き取りにくかった。		画像や音声について改善をできればお願いします。
116	室伏由佳さん	Webでのシミュレーションを少しでも行っていたらもっといろいろ聞けたのかなと思いました。		
117	渡辺氏	時間配分はオンラインだからこそ、予定どおりが望ましいと考えます	ゾーン、フロー体験、コーチング	雑談内容が聞こえて来ました
118				
119	?中ウエルヴ京さん			
120	曾良先生、川上先生、喜連川先生	本日は貴重なお話ありがとうございました。今後の社会におけるスポーツの在り方を考える良い機会となりました。また、様々な立場の方からの意見を聞き、スポーツの社会的な価値や役割について多角的に捉える必要があると分かりました。大学のスポーツ科学部に所属する者として、視野を広げて研究したいと思えます。	ビッグデータがスポーツ、芸術、医療、経済などあらゆる分野にどのように活かされているのか、学校でのプログラミング必修化の経緯も踏まえて、各分野のデータサイエンティストの方からお話を聞いてみたいです。	

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
121	川上泰雄教授 田中ウルヴェ京さん	今回参加させてもらい、スポーツを医療の分野や学術など様々なアプローチの仕方から見ることができ、アスリートのみならず全ての人のことを考えてスポーツを見ていく必要があると感じました。また、エビデンスに基づくことが信頼性やメディアリテラシーにも関係してくると思いました。貴重な経験ができてよかったです。ありがとうございました。	スポーツにおける地域創生について伺いたいです。スポーツバイオメカニクスがどう社会貢献できるのかなどについて伺いたいです。	
122	室伏由佳さん ほかの発表もすべてよかったのですが、一番印象に残っています(スポーツ観戦好きとして号泣しました)。	個人的に東京五輪をとっても楽しみにしていて、全期間の東京の宿を予約し、観戦チケットも相当頑張ってたくさん入手していた、スポーツファンとして、情報収集のために参加しました。私自身はスポーツは、全くせず、ひたすら見る、(少し支える)側で生活の一部になっていますが、この時期に選手としてピークのアスリートにはそうとう厳しい状況だと想像します。何とかならないのか、という思いがまた強くなりました。また、私自身は海外で日本語教師をしています。育成、モチベーションやメンタルケアの部分で、スポーツ分野での話がとても参考になります。とにかくいろいろと勉強になりました。	現在、海外在住ということもあり、日本開催のフォーラムに参加することは不可能だったのですが、コロナのおかげで、最近色々なオンライン開催のシンポジウムに参加するのがとても楽しいです。自分の専門外の話聞くのがとても面白いことに気づいたので、どんな内容でもいいです。	休憩時間中の音声が切られていなくて、聞こえていたので、おそらくほかからも指摘はあったかと思いますが、その点だけお気を付け下さればと存じます。聞いている方は何となく楽しかったですが…
123	田中様、室伏様の講義になります。			
124	田中ウルヴェ京	withコロナとなるこれから、密を避けて行うことができる個人スポーツやエクササイズは盛んになってきましたが、そのなかで集団スポーツや人と関わることの価値についても考えた。		運営側の雑音が少々気になった。
125	登壇者全員素晴らしいと思いましたが、熊谷先生の発表は特に興味深く拝聴させていただきました。			
126	神尾陽子、喜連川優、山口 香	スポーツ科学の研究としては、トップスポーツを取り扱うのは興味深いと思います。室伏さんや田中さん、山口さんなどのように国内(世界的)トップクラスで活躍した人の言葉には、喜連川さんが指摘したような説得力があるのかもしれない。高校野球を考えても判るように、「甲子園」に行ける高校生は極々握りしめないのです。そして、そこを目指して多くの高校生、プレーヤーは頑張っているのかもしれない。ただ、個人的には、そう考えること自体に何か問題があるようにも思っています。トップの人の言葉に説得力があると考えるのは、その裏返しでは、そうではない人の言葉には説得力がないということになるし、そこで既に「上下」の概念が入り込んでいる気がします。そして、その上下は「結果や成果」で決まる性質のもので、競技成績が良ければトップに行ける訳ですが、それは極々少数でしかありません。JISSも国もマスコミも競技力向上にばかり目を向けていて、そこに資源(人もお金も)を過大に投入していますが、本来資源を投入すべきは違う所かもしれません。圧倒的多数がそういった世界とはかけ離れた場所でスポーツに接しています。そういう意味では、スポーツも二極化しているのかもしれませんが、山口さんが指摘したように、「スポーツ依存症」(個人、集団や社会)が問題なのかもしれません。スポーツの原点に返る、ということの重要性を改めて感じています。エビデンスベースとしながら、影響力が強いマスコミとは別のチャンネルでそのことを伝えていく、広めていく施策が必要だと思いました。日本学術会議が「スポーツ」を扱うことはとても意義深いことだと感じています。	体育とスポーツ 古くて新しい問題ですし、まだ学術的にも日本では明確になっていないと思われ。学校教育の体育という分野がスポーツという観点からは異質なかもしれないと個人的には思っていますし、スポーツ嫌いは体育嫌いから端を発している、とする見解もあります。教育学部の体育学生や教員は、体育を専門としていると同時に、それがスポーツだという認識の人達は多いと思います。そこから、未だに体育的な古い考え方がスポーツの世界でもまかり通っているように感じています。そこを変えていかないと、あるいは、しっかりと検証していかないと、日本でのスポーツは現状のままだと思います。文科大臣が高校生の競技成績を残させるために(大学進学も絡めて!)、という理由から競技大会開催を促したりするようなスポーツのあり方は好ましくないと考えます。教育の一環として行う活動だからという理由で高体連は甲子園大会を中止にしたのに、地方大会は推奨しているのは矛盾している。その根底には勝ち負けがスポーツの価値だから、という概念が見え隠れしている。教育としての体育とは何か、スポーツの本来の姿って何かを考えた場合に、それらの概念に共通性や一貫性はあるのかと問うたときには、やはり疑問が生じるのではないのかと思う。体育関係者や団体は、内部から物事を変えていくことが苦手だと思います。外部から、それも、学術という面からのアプローチで変革を促すことは有意義なことだと思います。	山極日本学術会議会長が話していたように、スポーツと学術は遠く離れていた(る)ものですし、スポーツ科学自体がまだまだ新しい分野の複合領域です。これからも、スポーツ科学者以外の学者も含めた、今回のような学術的、学際的なアプローチを今後とも継続していただければと思います。
127				開催が難しい中、オンラインでの実施をありがとうございました。
128				

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
129	室伏由佳様 田中ウルヴェ京様 総合討論出演者	学生の私でも理解することができる内容であり、とてもおもしろかったので、参加して良かったと思いました。 最後の総合討論での内容の、スポーツに対する価値観を変えることや、スポーツに関わる機会をこれを機に増やしていくことがよいのではないかとということにとっても興味を持ちました。 新型コロナウイルス感染症のこの時期を、好機にとらえるには良い時間だと思ったので、私もスポーツについて考えていきたいと思っています。		
130	室伏さん	今回授業と重なって参加できず、終わってからレジュメをダウンロードしました。レジュメだけでも入手できて良かったです。		
131	個人というよりは、総合討論での発言が興味深かった。	物事には多様な視点からそれぞれに価値観が存在するが、スポーツにおいてそのことがあらためて顕在化したことは価値があると感じた。また、エビデンスに基づいて明らかになったスポーツの価値、社会にとっての重要性などを、如何に伝えていくか、教育やメディアの役割やあり方も今後の課題となってくると思う。		オンライン開催のご準備にはご苦労されたことと思います。ありがとうございました。 自身の通信環境ゆえと思われるが、聞き取りにくいところが多々あり、今後も見据えて(世間一般に)IT環境がさらに整備されていく必要があると感じました。
132				
133				
134	田中ウルヴェ京先生	演者交代時や休憩時に、演者同士の話し声が流れており、非常に不愉快であった。運営サイドおよび演者ともに、もう少し考えてほしい。 すべて遠隔のため、多少のトラブルはやむを得ないのかもしれないが、演者と日本学術会議側で回線接続のリハーサルくらいはやってほしい。 他の演者の時間が少なくなり、十分な状況享有が妨げられたと感じた。	TOKYO2020に関して。	
135	熊谷晋一郎先生、田中ウルヴェ京先生、來田享子先生、室伏由佳先生	今回のフォーラムを拝聴し、スポーツは、安全な社会生活が営めることで成立するものであると改めて考えさせられた。また、学校体育のあり方を根本から変える必要があると強く感じた。健康は、人間が安全な社会生活を営むために必要不可欠であり、一方でスポーツは本来、やらなくてはならないものから逃れるための手段、必要のないもの、ということに価値がある。逃れるための手段を生きる糧と置き換え、目指すものにしてしまった結果が、様々な心身障害を引き起こしているのではないだろうか。学校体育は、身体教育の観点から健康や安全に役立つものになっているのだろうか。スポーツの価値は誰かが決めるのものや国で示すものなのだろうか。今後はより社会的な視点からもぜひ検討を重ねていただきたい。ご登壇いただいた皆様、お忙しい中、様々なエビデンスや事例、お考えを提示していただき、本当にありがとうございました。	メディア(電子媒体)と、子どもの生活、成長、発達との関わり	様々な会場をつなぎ、運営はたいへんだったと思いますが、休憩時間中の私語などが視聴している側に伝わらないような配慮をしていただけると良かったと思います。
136	室伏由佳	スポーツとは何かについて考えさせられた。	人類の将来について	手交式、およびパネルディスカッションのマスクをしている方の声が聞きとりにくかった。
137	熊谷晋一郎先生 曾良一郎先生 田中ウルヴェ京先生	日本のスポーツがこれから向かうべき指針が多く示されたと思います。 オンラインで多少の音声の乱れはありましたが、より多くの方が参加できて良かったと思います。会場開催に戻っても同様に配信されることを期待します。 ありがとうございました。		
138	皆さん。	オンライン開催ということで難しい中、ご企画ありがとうございました。音声聞きとれないことが少なく、折角のご発言のご主旨が掴めないこともあり、技術的に仕方ないのですが、残念なことがありました。		

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
139	室伏由佳さんの講演は大変興味があった。			1. 全体的につなぎがもたもたしていた。 2. 最後のパネルディスカッションの画質、音質が悪く聞きづらかったことが残念であった。
140	室伏先生			
141	勝田隆さん	どの講演内容も興味深く良かったと思います。 今回はオンラインでのフォーラムということで、運営に不慣れだったかとは思いますが、不手際が多かったのが残念です。 リハーサル不足、マイクミュートへの気遣いの無さを感じました。 次回はより良いフォーラムになるよう期待しています。		
142	室伏先生の事例			
143	熊谷先生、曾良先生	オリンピックを目指すほどのアスリートと一般のスポーツ参加者では考えることや問題意識も異なるのだと改めて感じました。 特に熊谷先生、曾良先生のお話は違う分野からのお話だったので新しい視点が得られて刺激になりました。 オンラインだと旅費や移動時間がかからないので、通常よりも参加しやすかったです。興味があっても、費用や日程の都合で参加できない方も多いと思うので、今後も会場参加とオンライン参加の両方を検討していただくと参加者が増えるのではないのでしょうか。貴重な機会をいただきありがとうございました。	Withコロナ社会でのそれぞれの分野での対応方法について	休憩中などに音声が入ったままだったので、講演者間での会話などが全て聞こえてしまっていました。内容によって問題ないとは思いますが、講演者の方は聞こえていると思っていない感じだったので、不要な部分では音声を切る方が安心なのではと思いました。
144	室伏由佳先生			
145	室伏由佳氏、田中ウルヴェ京氏	スポーツを根性論でなく科学的に心技体を研究し、成果が個人に還元されていくのは大変良いことだと思う。 室伏氏、田中氏からはトップアスリートの選手時代、引退後のことも聞かれ、これからのアスリートの育成に生かしてもらえることがいろいろあった。 今回も、物理的な制約なく1000人ほどの視聴者が参加でき、学術フォーラムとしては大変良いことだと思う。		
146				
147	曾良先生、勝田先生	音声聞きづらかった		
148	鈴木長官	YouTubeライブの音飛び、画像飛び。 スタッフの声が結構入る		
149	?中ウルヴェ京 氏			
150	熊谷晋一郎先生	今回初めてこのようなフォーラムに参加しました。お話を聞く中で、スポーツを学問することの深さと自分自身の見識の浅さを痛感致しました。スポーツの現場で活動することが多かった身としては、マクロな視点で見ると、やはりスポーツの文化を発展させていくには他分野の見方がとても大切になってい來ると感じました。これから学びを進めてスポーツの発展に少しでも貢献していけたらと思いました。		
151	熊谷晋一郎、曾良一郎、室伏由佳、田中ウルヴェ京	・オンラインフォーラムの可能性を感じた。 ・充実した内容を学ぶことができ、スポーツ科学に関する視野が大きく広がった。	・今日のところは、特にありません。	・画面の共有で操作の手違いがあったので、事前のリハーサルで発表者による画面操作を確実に試しておくのが安全だと感じた。こういった問題も徐々になくなっていくものと思う。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
152	田中先生、來田先生、勝田先生	JOC-NCAで聴講した勝田先生、來田先生がご出演されることで申し込みをしました。田中先生の「自国開催とは、その国、子供たちにオリンピズム、バリューなどを広めるチャンスを与えられたことである。」という言葉に、自分が出来ることを考えさせられました。それぞれに、新鮮かつ興味深い話でした。ここから、どのように活かしていくのか、まで取り上げてほしいです。	スポーツ分野	河合純一さんのSNSでこちらを知りました。素晴らしい学びの場を与えていただき、ありがとうございました。
153	熊谷		多文化共生 インクルージブ教育 食育と老齡年金と食文化 孤独と高齡社会 引きこもりと低賃金社会 障がい者の就労	
154		継続して議論すべきポイント、フレームのようなものが示されたことは非常に意義があったのではないかと考える。是非、継続して議論を深める会議体または研究グループを立ち上げてほしい。		オンラインでの開催は参加のハードルを下げる効果があるので、今後も選択肢として加え続けて欲しい。その際、できればオンライン放送の経験者を運営スタッフに加える等、放送のクオリティ確保にも努めていただけるとありがたい。新たな発信方法により、これまでとは違うオーディエンスにリーチできる可能性もあるのではないかと。
155	來田さん	フォーラムの現場の音が悪い。 また、遠隔からのリモート出演者の音も悪い人がいた。 画面共有のテストは事前に済ませておいてほしかった。 元アスリートの田中さんは、前半は自分のPRばかりで不快だった。 元アスリートの室伏さんの話もいつもの話で、新鮮味が全くなかった。 勝田さんの話には内容がなかった。 ウェブで配信されると、内容の良しあしが如実に表れるので、登壇者の選定をしっかりとする必要がある。		
156	スポーツにスポットをあてて分析しているところ	参加しやすい雰囲気がとてもいい	文化芸術の観点から取り上げてほしい	
157	勝田隆・室伏由香	競技スポーツ現場におけるアスリートとサポートの現状の実態が感じ取れた。 スポーツの価値を再考させられた。		私が述べるまでもありませんが、このような形式の難しさ(資料共有、音声・画像の質、運営サイドの音声の混入)のご苦勞を感じました。本当にお疲れさまでした。引き続きよろしく願いいたします。
158	來?享? 先生	大変有意義な時間でしたが、ネットワーク環境やマイクのコントロールの関係で聞こえづらかったため流れが切れてしまったと感じました。また、自身の関心のあった演者のかたが、後半だったため、あわててお話ししており、落ち着いて聞いていられなかったことが、残念でした。		演者の方が紹介した論文や、テキストがはっきりとわからなかったため、どちらかで紹介してほしいと希望いたします。特に川上先生がお話されていたラグビーの大会に関する必要人材の数などのデータを用いていましたが、題目確認しようとしたタイミングで映像がぼやけてしまったり、音が拾えないことがありました。テキストではなく、再度はっきりした映像を見れる機会があるとよいのですが。
159				
160	山極会長	会長の最後のコメントは印象深かったです。体育・スポーツ科学が北極と南極のような位置にあるという比喻は、さまざまに刺激を受けました。	人文科学の分野で、人間の本質そのものについて考えていく哲学的なテーマを扱って欲しいです。	今回は登壇者が多く、お一人のテーマが表面的になった印象です。もう少し深く掘り下げた次元でそれぞれのお考えをお聞きしたかったです
161				
162	全員の出演者です。	スポーツという研究が他の分野からの視点から見ると深みが増してきて、スポーツの価値というのが多様で奥深いと思いました。		

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
163	室伏由佳氏・最後にまとめた男性の先生	どこからでも参加可能なのは、とてもよいと思った。 しかし、音声が悪くてほとんど聞けないお話も多々あり、残念でした。 マイクの工夫が必要だと思った。 ?—スポーツも取り上げていたのはよかった。	健康問題 食のグローバル化の可否	ライブであったが、YouTubeを使用するなら、本日中なら全編視聴できるとありがたい。 授業と重なり、視聴できない部分が多かったのだ!
164				
165	熊谷晋一郎 先生、曾良 一郎 先生			
166	時間の関係ですべての方の講演を聞けなかったので答えられない	長い時間なのですべて集中して聞くことができないので短縮して何回か開催して欲しい。	afterコロナの生活の在り方 afterコロナの子供たちの生活の課題と対応	
167	なし	なし	コロナと社会科学との問題	
168	室伏先生	資料がダウンロードできてわかりやすかった。	依存症や自殺について	
169	來田享子先生/ 山口 香/ 喜連川優先生/ 山極壽一先生	総合討論でも話されていたが、さまざまな分野の研究者の方がそれぞれの視点で、スポーツの価値について語られていた点が良かった。エビデンスという概念を持ち込むことにより、個々の体験論ではなく、学術的な側面に絞り込めたのも効果的。オリンピックの歴史的な価値の変遷や、認知療法(依存症)、さらにはオープンデータと個人情報保護など、まさに「特別な人の為の別世界の話ではなく、普遍的に関わりがある」ことが、あらためて認識された。延期されたOlympic Yearという2020年の特殊事情をタイムリーに活用した、非常に良い企画だと思う。	Open Science (Open Data)	総合討論の際、山口先生以外のオンサイト・パネリストの方々の音質が、ちょっと聞きづらかったのが残念でした。リモートの方々は問題なかったです。
170	渡辺美代子 室伏由佳	このアンケートのフォームがユーザーフレンドリーでないのが残念。 複数選択肢はチェックボックスにして欲しかった。簡単なシステムなので。	運動と心理学	山極先生の話をもう少し伺いたかったです。
171		* 発言内容が聞き取れない参加者がいた(最後の討論時の室伏先生等)		パワーポイントのフルスクリーン化ぐらいはできないのかと思う講演者がいました。

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
172	熊谷氏、勝田氏	<p>・質問の項目をメールに案内していたのに、全く取り上げなかったのは理解できない。もし何も答えないのであれば、質問のURLは不要と思う。</p> <p>・せっかく熊谷氏が講演したので、ユニバーサルデザインの観点からのスポーツデザイン、またオリンピックとパラリンピックの競技で倍以上の種目の差があることにつき、オリンピックの競技をパラリンピックで行うなら、またはパラリンピックの競技をオリンピックで行うなら、ということも聞きたかった。</p> <p>・ステイホームの中で行う散歩やジョギング等の簡単なスポーツを組織化することの検討を試みたら、一般の人のスポーツ参加・楽しみ方等がもっと広がったのではないか。</p> <p>・勝田氏の施設再開にあたり、プラズマクラスターで新型コロナウイルス対策をすれば、3密を避けられる対策となりうるのではなかったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラズマクラスターで新型コロナウイルス対策が可能か ・独創性の考え方 ・ニュートリノ天文学とニュートリノによる原子炉監視 ・地球下マントルの科学 ・ISSでの核融合実験の可能性及び将来の宇宙旅行のロケット燃料としての核融合 ・太陽フレアと地球の防御 ・地球外生命体の議論 ・冥王星以遠の惑星の調査 ・深海底の資源探査 ・マイクロプラスチックの海洋分布と分析 ・硝酸体窒素の野菜中の規制に関するEUと日本の比較 ・トリチウム汚染水処理と風評被害の対策 ・放射線がん治療と患者の被ばく管理 ・放射線治療のBNCT法の長所と短所 ・環境DNAによる日本の海洋・湖沼・河川の生物分布 ・3次元立体テレビの可能性 ・空飛ぶ車の研究 ・自動運転レベル4の開発状況 ・水素エネルギー社会の実現性について ・ダークマター・ダークエネルギーについて ・天文考古学について ・月面ゲートウェイについて ・スペースデブリの消滅研究 ・宇宙エレベータの進展 ・宇宙における国際法の現状について 	<p>・日本学術会議のネットシンポまたはフォーラムで3形式のものが出てきた。</p> <p>Zoom、Webex Events、YouTubeで参加する側としては統一したシステムにしてもらう方が事前に安心できる。</p> <p>3形式だと、毎回ハラハラドキドキが多く、スムーズな進行もできないように思える。</p>
173	曾良一郎先生			
174	田中ウルヴェ京さん	<p>オランダ在住の川上先生やパネリストのみなさんの講演をライブで視聴させていただき、感激しました。特に、田中ウルヴェ京さんのお話は引き込まれるように拝聴しました。メモを取りましたので、学生にも伝えたいと思います。本日は、このような貴重な機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。</p>	<p>東京オリンピック、パラリンピックに関するテーマ スポーツと音楽・芸術の共通点</p>	
175	田中ウルヴェ京さん、来田享子先生	<p>オンライン開催なので、参加しやすかった。接続に時間ロスして、他の方の発表時間がなくなったり、登壇者の声がしっかり聴き取れなかったのが残念だった。最後のパネリストの討論は楽しく、とても勉強になった。</p>		
176	熊?晋?郎先生	<p>遠方に居住しているものにとって、とてもいい企画だと思います。情報地域格差解消にもつながります。今後もぜひオンラインでフォーラムのライブ配信をしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナ時代の地域政策 ・東京一極集中と地方創生・地域活性化 ・文化まちづくり(文化観光推進法) ・今後の都市経営(地域経営)の方向性 ・地方公共交通の持続性 ・中山間地域(消滅自治体)の行方 ・少子化対策、働き方改革 ・東アジア(中国、韓国)と日本との国際協力関係 ・ポピュリズムが脅かす民主主義(SNSの暴走)等 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン方式の運営の円滑化 ・パネラーのプレゼン資料の更新(提供されているシートとプレゼンシートとが一部異なっていました) ・内容がいいので、フォーラムの要約版の提供をぜひお願いしたい
177	熊谷晋一郎先生	<p>オンライン開催であったため、参加することが出来ました。ありがとうございます。 スポーツをさまざまな角度から見ることで、新たな知見を得ることができました。 特に熊谷先生のお話は、興味深く、詳しくお聞きしたいと思いました。</p>	<p>コロナ時代の政策、まちづくり</p>	<p>今回はオンライン開催であったことからだと思いますが、運営についてはスムーズではなかったと感じました。</p>

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気付きの点がありましたら、ご自由にお書きください。
178			栄養とスポーツの関連について	
179	熊谷晋一郎、室伏由佳、喜連川優、神尾陽子	・話題提供者の話題がそれぞれ興味深かった。 ・ディスカッションでは、話題提供の内容に関連して、もっと深めてほしかった。	・society5.0における近未来社会の設計 ・障害者の権利条約とSDGs ・科学技術の発展と生命倫理 ・企業のCSR(社会的責任)と人間の安全保障	・オンラインミーティングでは、音の環境がとくに重要なので、事前にマイク性能も含めて、十分に準備してほしい。 ・今回は、オンラインフォーラムとして、環境設定の事前の準備が頗る不十分だと感じた。
180	熊谷晋一郎、室伏由佳、喜連川優、神尾陽子	・話題提供者の話題がそれぞれ興味深かった。 ・ディスカッションでは、話題提供の内容に関連して、もっと深めてほしかった。	・society5.0における近未来社会の設計 ・障害者の権利条約とSDGs ・科学技術の発展と生命倫理 ・企業のCSR(社会的責任)と人間の安全保障	・オンラインミーティングでは、音の環境がとくに重要なので、事前にマイク性能も含めて、十分に準備してほしい。 ・今回は、オンラインフォーラムとして、環境設定の事前の準備が頗る不十分だと感じた。
181	勝田先生	興味深い内容であったが、オンラインの接続や画面の切り替えなど聞きづらい、見づらいことも多く、残念であった。せっかくオンラインであったので、リアルタイムで質問など答えてもらえるとうよかった。コロナに注目しているのかどうか焦点が少しわからなくなる傾向もあった。女性のスピーカーが非常に多かったのは何か意図があったのでしょうか？	学際的に、何かのテーマを多領域から深める、他アプローチから明らかにするなど、分野を超えた、特定の学会ではみられないテーマを取り上げてほしい。今回のように、社会情勢に即した、また国際的な内容が興味深い。オンラインにしてもええと、遠方からも参加しやすい。仕事があっても、部分的にでも参加できるのありがたい。	このような大変な状況下においても実施していただき、またオンラインにてオープンにしてください、感謝申し上げます。今後とも興味ぶかいテーマ設定とフォーラムを楽しみにしております。
182	室伏由佳さん、喜連川先生、山極先生	アスリート強化、一般人のスポーツによる健康促進強化にデータ処理の学術的アプローチが有効に活用されるのではという山極先生のコメントが印象的でした。データ野球で有名であった野村監督の思考をAIで再現できないでしょうか？		
183				
184	山極壽一氏、曾良一郎氏			
185				
186		オンラインでの視聴で、少し不思議な感覚でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。	工学技術の将来像、安全の将来像など。	前半部分、音量のデータが少々割れていてヘッドホンで聞きづらい部分がありました。可能であれば、調整して頂けるとありがたいです。
187	山極会長、室伏先生、来田先生	来田先生の、クーベルタン時代の社会と現代社会の違いから見るオリンピックの価値の違いに関するお話はとても印象深かった。移動距離もあり、移動そのものも楽しいことではないですし、そこまでも参加していた時代のオリンピックとダイバーシティが叫ばれている時代背景を持ったオリンピックは非常に距離感が近い、スポーツやオリンピックの価値を再考させられるお話だった。	山極会長でいう、野性と運動・スポーツの関連性、ゴリラ(野性)から見た現代スポーツ、人間社会のあり方、考え方など。	
188	どなたも同じくらい	一人一人の登壇者の話しはそれなりに面白かったが、全体としてのテーマの核があいまいで、学術会議主催としては深掘りが不十分であったと感じた。		
189				
190				
191	来田			
192				
193				

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
194	田中京氏	トップアスリートがトレーニングによる身体的限界とそれを乗り越えるためのメンタルコントロールの重要性について知れたこと。科学的エビデンスの積み上げによって、合理的な体づくりと技術向上の可能性が高まったこと。他方、スポーツによる事故防止への取り組みが求められることも課題と思いました。		
195	室伏由佳さん 田中ウルヴェ京さん			
196	來田享子先生、山口香先生、川上泰雄先生		女子スポーツと社会の発展 人見絹枝選手など女子スポーツ黎明期の選手の葛藤と社会の変化、これからのアスリートのキャリア形成について	
197		マスクの為聞こえずらかった。交代時に余計な声が入って、腹がたった。		
198	残念ながら指名はできません。	視聴がづらい時間がございました。	これからについて、占いのような文言でない思考をお話頂く機会があれば良いと考えております。	本の目次に相当する時間割が先に示されていれば良かったと思いました。30分待つとは思いませんでした。
199	來田享子 先生	スポーツというものを概観し、時代とマッチした形へ変化する話がとても分かりやすかった。		
200				今まで知らなかったことを知ることができ、とても勉強になりました
201	山極壽一氏、熊谷晋一郎、喜連川優氏、室伏由佳氏、來田享子氏			
202	室伏由佳 曾良一郎	今回の学術会議の開催は、Covid-19感染症拡大の影響を受け大変だったと思いますが、オンラインで開催頂き有り難うございました。 地方から東京開催の会へ参加するには、仕事の調整、移動に要する時間と交通費の負担が大きく、ハードルが高かったのですが、今回は気軽に参加することができました。また、じつと同じ場所に座って静かに聴く必要もなく、業務に支障なく参加することができ、本当に助かりました。 ただ、時々声が途切れたり、映像が乱れたり、pptが見難かったり、途中の雑音等も気になりましたので、今後の改善に期待したいと思います。	教育へのIT活用の効果と意義 ロボット開発の現状と今後の展望 ロボットで人材不足をどこまで補うことができるのか 超高齢社会におけるロボットの活用～生活支援・介護等～	
203	室伏さんです	スポーツ障害は、いまだにあると思っています。 スポーツ少年団などの活動内容を聞くと、とても科学的な指導などとはいえないものもあるようで、恫喝のようなものもあると聞きます。 児童や生徒に指導するコーチや監督こそ、しっかりとした研修を受けるべきだと思います。	新型コロナウイルスへの対応のなかで、遠隔教育の重要性が増したと思うのですが、ここまでの総括をしてほしいのと、小さな学校でも低コストでできるような具体的なシステム構築、そしてそのサポート体制のあり方についてのアイデアを提案してほしいと思います。	
204		こちらの都合で部分的にしか参加できなかったが資料が提供されたので埋めることができ良かった。 (一部の資料に著作権は大丈夫？と思われるものもありました)		
205				
206	曾良一郎先生	e-sportsに関連した情報が聞けて良かった。 特異的な症状や症例を具体的に聞けた。		
207				
208	室伏さん、田中さん			

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
209				
210	熊谷先生、室伏由佳先生	技術的不備が多すぎる。スライドが表示されなかったり、事務局がリカバーしようとしてさらに状況を悪化させたり、休憩中の会話がダダ漏れだったり、口演が聞こえづらかったりと、準備不足。何が言いたいのかよくわからないシンポジウムであった。この時期に、オリンピックに向けて気運を盛り上げたい表層的なものなのか、オリンピックの歴史を振り返り、今の時代においてはどう捉えるべきなのか(商業的なことをいっているのではない)、パラをどう考えるべきなのかを「学術会議！」らしく、掘り下げたかったのか、よくわからなかった。		
211	田中ウルヴェ京先生			
212	室伏氏	このテーマにトライしていただいてよかった。 更に、以下の課題にもチャレンジしてください。 ○人類にとって、人生にとって、スポーツとは何か？その効用な何か？に、もう一息、迫ってほしい。 ――人間にとって、良い？？？人類とは、人生とは、不足している部分を補うなど。 ――未知の世界に無限の要素が、存在する。 ○ミクロには、スポーツを何のために、どこまで極めるか、どの程度やるべきかを突き詰めてほしい。多くは健康維持のために、かけている部分を適切なレベルで補いたい。さらには、アスリートなどのように、最高のアウトプット(記録?)を追求するために、論理モデルを構築し、試行錯誤しながらベストを求めたい、とか。 ○最高のアウトプットを出したいときに、環境は分からないことが多く不確実、人間はいい加減で振れ幅が大きい、という中で、いかに論理モデルを作って、学習を積み重ねながら、最高の結果を追求できるか。 ○生の人間をはじめとする世界はアナログであり、ファクターは無限個あり、振れ幅もあり、論理構造も明確には、定まらない。その中で、どこまで、追及できるか、どの程度までにすべきかという議論は、スポーツの目的ともあわせて、必要になってくる。この不安定な環境の中では、最適化の追求の仕方も議論が必要である。 以上。	○今回のコロナの欧米VS日本VSアジアの感染率と死亡率の差の生じている現因は> ○日本の今回の新型コロナの統計的事実把握の実態が、把握できない。武には異なるが、統計の改竄まで起こしているので、基礎データから再確認が必要である。相当に抜けており、この上には、科学は成り立たないのではないかと心配である。 ○日本はデジタル化について行けるか？ 白黒はっきりしないで、一緒にいたい。 性善説、法令運用の甘さ、などなど。 ○創造、イノベーション、成長など、新しいことを起こす体制が必要なのに、変化したくない。どうも、青天井で、制約なく自由にモノゴトを考えられないように育てられてしまっているのではないかと。原因を明確にして、自由に発想できない障害をどのように取り除くか考える。	もっと、グローバルにモノゴトを考えられないか。 日本学術会議に、外国人の会員枠を3分の1ぐらい作れないか。
213	エビデンス			
214				
215	eスポーツとゲーム依存との関係について	テーマが広範囲であったので、テーマを絞っての開催を考えて頂いても良いのではと感じました	コロナ渦での個人情報扱いと情報銀行の取組	
216				会場でのディスカッションになったとき、音声が聞きにくくなる時があった。マイクを何本か使用しているので、音質がよくないのか、自宅から発言されている方との音質差を感じた。
217				
218	曾根一郎教授、田中ウルヴェ京先生	オンデマンドでの開催ということで、移動等の必要がなく、大変気軽に参加できるものでした。 また、自分のデスクで見られるため、スライドなどのデータもよく見えました。 ありがとうございました。	今回のテーマは、スポーツの価値ということで比較的、トップアスリート、パラアスリートへの視点での話がメインであったように感じます。一般の人々が日常の活動に戻っていくためにスポーツができる支援や学校現場を対象とした視点での話などを取り上げてもらえると嬉しいです。	
219	曾良一郎先生			
220				
221				
222	喜連川優先生			

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
223	熊谷晋一郎さん	スポーツの世界へ学術分野からのアプローチがあって、新たな気づきがありました。	データの一元管理と自由使用への提言があり、この進捗状況を定期的に上げてほしい。	視聴覚障がい者にも、フォーラムの内容が理解できるような取り組みがあれば、さらによい。
224	女性アスリートのスポーツ障害に興味があるため、室伏由香氏の講演が興味深かったです。	様々な視点でスポーツに対する研究が進められており、EBPMの推進によってよりよいスポーツ環境が確立されることが期待できると感じた。 今回、オンライン開催となったことで、地方からでも参加できありがたかったです。		
225	田中ウルヴェ京氏 来田享子氏	サブタイトル「新型コロナウイルス感染症収束後の社会のために」に関する議論が足りなかった。今後期待したい。	ポストコロナ時代の研究手法、未来の研究活動への変化。	
226	勝田隆氏(日本スポーツ振興センター:ハイパフォーマンススポーツセンター長) 曾良一郎氏(神戸大学教授)	講演内容がどれも素晴らしく、大変良かったと思います。 講演の途中、プレゼン画面の関係で中断したことや講演のタイムスケジュールがわかりにくいことの改善があれば、もう少し、集中して拝見できたと思います。 く、当方の時間の調整と合わせることが難しかった。	「スポーツの価値と科学的エビデンス」をテーマに他の研究成果について取り上げていただきたいと思います。	オンライン開催が大変ありがたいと思います。 地方に住む人間として、東京等で開催されることが多いこのようなイベントが、地元で直接拝見できることに感謝申し上げます。
227	室伏由佳	スポーツ選手が引退後を気にしているのがよく分かった。		
228		講演時間を守るようにして欲しかった。		
229	曾良一郎(神戸大学教授)様 「e-Sportsとインターネット・ゲーム障害(IGD)」			
230	熊谷先生	パネリストの先生方含め多数の方の調整を行った上でリモート開催で大変だったと想像します。一方、私はテレワークになっているうえ、今回、リモートフォーラムの形式だったので参加することができました。 私も体育・スポーツ関係者ですが、今回、体育・スポーツの専門家が、ややもすると自然科学的なエビデンスに偏った「エビデンス」を強調しがちだったと感じる中、山極先生がご自身のご専門を背景としながら「エビデンスももちろん大切だが…」と前置きされた後で、「信頼できるコーチとの間に…」、「社会性を育むうえで大切な営みが…」という趣旨を語ってくださったことが、とても印象的でした。救われた思いもありました。山極先生のご示唆にあった総合的・複合的な解釈による「エビデンス」の構築をしていくうえで、体育・スポーツ領域の人文社会学的研究や研究者の養成は不可欠ですし、それは、そのまま教養のあり方にも通ずる問題であると再確認した次第です。		
231		フォーラムのテーマから想像したものと実際の講演内容に違いがあり、若干期待外れでした。(講演内容が悪いという事ではございません。) オンライン講演は大変ありがたく、とてもよい手段でしたので今後もこのような形での開催を望みます。		
232				オンラインでの実施を並行して行っていただきたい。
233	熊谷晋一郎氏	テーマが広範にわたる価値の創生であったので、多様な話が聞けてよかった。しかし、まだまだカテゴライズすべき条件があり、同じステージで話をするには議論が深まらない感があります。	是非、多様で刺激的なものを取り上げていただきたいと思います。	オンライン会議としてのマネジメントを高めていく必要あると思います。セッション間の会話がcloseされないとか、画面共有がうまくいかない、等は管理者の問題でもある。
234	熊谷 晋一郎教授		スポーツと障がい者の社会参加について	

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
235				
236		ご講演・コメント全て興味深く拝聴しました。		プレゼンが止まる、講演者同士の会話が流れるなどがありました。オンラインフォーラムの実施方法の改善をお願いします。
237	室伏さん 田中さん	最後の討論で視聴者との関わりもあっても良かったと思う		
238				
239	曾良先生、勝田先生			
240	曾良一郎 先生 田中ウルヴェ京 先生	ライブ配信ですので、音声か映像かどちらか一方でも明確にしてほしいです。会議室での音声小さく、聞き取りにくかったです。		
241		オンライン開催となり、非常に有益な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。 ただ、時間を守らない発表者は、司会者も大変だなあと感じました。時間管理の改善を願います。		研究費の節約にもなるので、今後もぜひオンライン開催をお願いしたいです。
242	室伏さん、田中さん、山際さん	トップアスリートが研究者となった場合、大変説得力のある内容になることを改めて感じた。 その一方で、だれもが知っているような内容を繰り返し語る演者も見られ、どのような聴衆を対象として講演が行われているかに関する統一的な認識をもう少し共有されるとよかったと思う。		事前に、オンライン会議に関するリハーサルが行われていたことと思うが、日本学術会議の主催でこれだけの中断が発生してしまったことが残念である。これは演者のせいではなく、サポート体制の不備であろう。
243	勝田氏、來田氏	コロナ禍において、スポーツの価値が変化する、また今一度、スポーツについて考え直すきっかけとなる、との話がありましたが、今まさにその通りと思いました。		初めて参加しました。 興味ある分野でしたが社会人であり、参加はあきらめていました。しかし、web公開となり参加でき、良かったです。
244				
245	熊谷先生			
246	熊谷氏、田中氏、室伏氏、	1. とても良い内容でした。スポーツ演者が楽しんでいなければ、聴衆が受け取るものもプアになるので、当事者優先で持続可能な運営に期待。	2. パラスポーツとメカニクとの関係やエンハンスメントについて深い議論を。	3. 本アンケートにおける専門分野選択肢が一つに限定されており、この作成者の心理的惰性が表れている。当方は、左から3つまでの全てに該当。 4. 音声の断続が頻繁にあり、06/03「学術フォーラム COVID-19とオープンサイエンス」でも同様で、何れも Cisco Systems が採用されており、ただ、05/28「公開シンポジウム 安心感」とは？」では、zoom が採用されたせいか、そのような問題は無かったので、今後の他のオンライン開催では配慮されたい。
247	熊谷先生のご発表は、社会からスポーツを考える点で非常に参考になりました。 また室伏先生、田中先生のアスリートの経験に基づくご発表は、大変興味深いものでした。	ますます「スポーツの価値」が問われる状況の中、オンラインでフォーラムを開催していただき、感謝しております。 初めての参加でしたが、各分野でエビデンスに基づいたスポーツが進められていること、しかしまだ研究対象がトップのアスリートなど限られているという現状がよく分かりました。 ありがとうございました。		
248	曾良先生、室伏先生	充実した内容であった		

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
249	曾良一郎	「e-Sportsとインターネット・ゲーム障害(IGD)」に関心を持って参加した。e-Sportsと言っても、いろいろな種類がある。全部一緒に扱いは、乱暴な気がした。もう少し、e-Sportsの種類ごとの分析の話だと良かった。	SNSのトラブルに関する内容	オンライン授業と重なったので、後からビデオで見ることができ、大変良かった。ただ、休憩時間のそのままビデオになっている状態は、データダイエットの観点から、適さないのではないか。終了後のビデオは、講演ごとに区切った方が良いと思う。
250	勝田隆先生	人生におけるスポーツの価値について一番大切な部分を17時以降の都合のために聞けなかった そこまでの話では極論が良く理解できていない	スポーツが果たす社会的意義 スポーツの社会的存在価値 スポーツの教育的価値	音声聞き取りにくい部分があった(特にはじめの部分) 休憩時はマイクをミュートにされた方が良いと思う 談笑が流れていた
251	田中ウルヴェエ京さん	ゲーム障がいのお話が聞いて良かったです。障がいがあるなし問わず、自覚症状がないままゲーム障がいになり自分の身体を壊していってしまう。?スポーツが注目されていると同時に、大きな問題が生まれてきている事をしました。仕事で関わっている方で、この子もかしてそうなんじゃないかと思う方がいらっしまったので、様子を見ていきたいとおもいました。	パラスポーツのこれから。スポーツとコロナウイルスはどう向き合っていけば良いか等、今日いろいろ制限があり、明確な基準が提示されていません。指導する側、参加する側。どのように活動を行っていけばいいのかわかりたいです。	
252	熊谷晋一郎氏			
253		何を発信したかったのか、得られるものがなく、最後まで視聴できなかった		長時間の視聴はそもそも疲れるので、不必要な冒頭あいさついらぬ。論点が曖昧で、わかっていることを改めて繰り返しているだけで、フォーラムの意味、意図は何なのでしょう。これまで閉じていたものがオープンになったのはとても良いと思いますが、それがゆえに、情報発信力、プレゼンテーション能力の低さが浮き彫りになっているのだと改めて思いました。グローバルといいながら、これは大きな課題かと思えます。
254			スポーツと脳	
255	曾良一郎(神戸大学教授)	オンラインでの参加方式がよかった。		
256	特になし	全体的にシンポジストの人選が良くなかったのではないかと(全員ではないが)スポーツ科学がテーマなのであれば、スポーツ科学の第一線級の研究者がプレゼンテーションをするべきではないだろうか?	新型コロナウイルスに対する問題は長期にわたり続くことが予想されます。また、新型コロナウイルスは我々の生活様式を大きく変えた(これからも変えていく)と考えられます。今回のシンポジウムの終盤の質疑応答で、川上泰雄先生が、例えばコロナをきっかけとして運動を推進していくような、日本発信のことができるのではないかとおっしゃっていらっしゃいました。 そこで、「医学」「経済学」「法学」「理工学」「スポーツ科学」の代表者が集まり、新型コロナウイルスの問題を、どうすれば逆に、人類が進歩していける契機となるか・できるかを議論していただきたい。	今回のフォーラムの閉会時に、(会長の?)挨拶で「スポーツと科学は北極と南極とくらいに離れていると思ったが・・・」のような発言があったが、それはスポーツ科学に対してあまりにも無知の発言であるし、スポーツ科学の研究者に失礼ではなからうか?
257		「e-Sportsとインターネット・ゲーム障害(IGD)」	一般人や高齢者の運動・スポーツ	
258	曾良一郎先生(神戸大学教授) 勝田隆先生(日本スポーツ振興センター:ハイパ フォーマンススポーツセンター長) 神尾陽子先生	総合討論が興味深かった。 パネリストの先生方のお話を改めて聞きたいと思いました。		

No.	(4)このフォーラムで、特に興味をお持ちになった出演者はどなたですか。(複数回答可)	(5) このフォーラムについて、ご質問があればお書きください。質問したい講演者もお書きください。	(7) 今後、学術フォーラムで取り上げてほしいテーマについて、ご自由にお書きください。	(8) その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。
259	田中ウルヴェ京さん			<p>学術会議の参加は初めてだったが、ほかのスポーツに係るセミナーや討論会、研究発表会などはもっと学生の私たちにとてもわかりやすく面白く感じた一方で、今回の学術会議はとても説明が難しく感じた。</p> <p>また、疑問点も多くあった。</p> <p>eスポーツとADHDを結びつけて考えている発表者の方がいたが、20代のわたしからすればデジタルネイティブと言われてる私を含めた10～20代がそういったゲームや端末の親和性が高いことは当たり前であるし、近年eスポーツの健康面で(特に反射神経など)良いとされる調査結果も出ていると聞く。端的にeスポーツ→ADHDと繋げた発表に疑問をもったので、その間に別の生活様式の変容などの話を盛り込むべきだし、スポーツの定義(健康のために行うのがスポーツなのか? 高い競技レベルで行なっているスポーツ選手は大怪我をしている)という点も踏まえてeスポーツについての話を聞きたかった点で残念に思った。</p> <p>また、田中ウルヴェ京さんのセカンドキャリアの話で、言語化が必要であり重要という考えには同意できるがこのような学会の場の発表にふさわしいかは疑問だった。いわゆる、高校生や大学生が行う就活の「自己分析」と言われることと同義であると感じたので、現段階でスポーツ界のセカンドキャリア支援でそれが行われていないのは深刻な問題なのではと思った。また、オリンピックメダリストも犯罪を犯してしまう現代で、すべての選手が田中さんのいう12のスキルを得られているのかも疑問に思った。</p> <p>学生という知識が乏しい中でこのような意見をお伝えしてしまいすみません。自分自身、この場に参加してあらゆる気づきがありました。これを糧により深く学びたいと思います。また、意見を述べさせていただいた方を含め、オンラインという慣れない場、また短い時間の中で発表していただきありがとうございました。参加させていただき大変光栄に思っています。ありがとうございました。</p>
260	田中ウルヴェ京様		データ活用の先端研究 各スポーツ分野での先端研究	